

# Intersight を使用した Cisco HyperFlex Edge 4.0 v1



最終更新日：2020 年 5 月 14 日

## このデモンストレーションについて

この事前設定済みデモンストレーションのガイドには、次の内容が含まれています。

[このデモンストレーションについて](#)

[要件](#)

[このソリューションについて](#)

[トポロジ](#)

[はじめに](#)

[シナリオ 1. Cisco HyperFlex Edge クラスタの作成とインストール](#)

[シナリオ 2. 構築されたクラスタの確認](#)

[次に必要な作業](#)

## 要件

次の表に、このデモンストレーションの要件の概要を示します。

必須	オプション
ラップトップ	

## このソリューションについて

Cisco HyperFlex™ Edge は、Cisco HyperFlex System の強力な機能セットとシンプルさをエッジ環境に提供します。優れた柔軟性と拡張性、コスト削減、一元管理のほか、大規模な展開と維持を可能にするソリューションを実現します。Cisco HyperFlex Edge とクラウドベースのリモートモニタリングおよび管理ソリューションである Cisco Intersight™ は、Cisco UCS HX シリーズ x86 ラックマウントサーバの上にハイパーバイザホストと仮想サーバストレージを 1 つのインフラで提供し、あらゆる用途に適した仮想化サーバプラットフォームを実現します。Cisco HyperFlex システムは、次のような多くのエンタープライズクラスの機能を提供します。

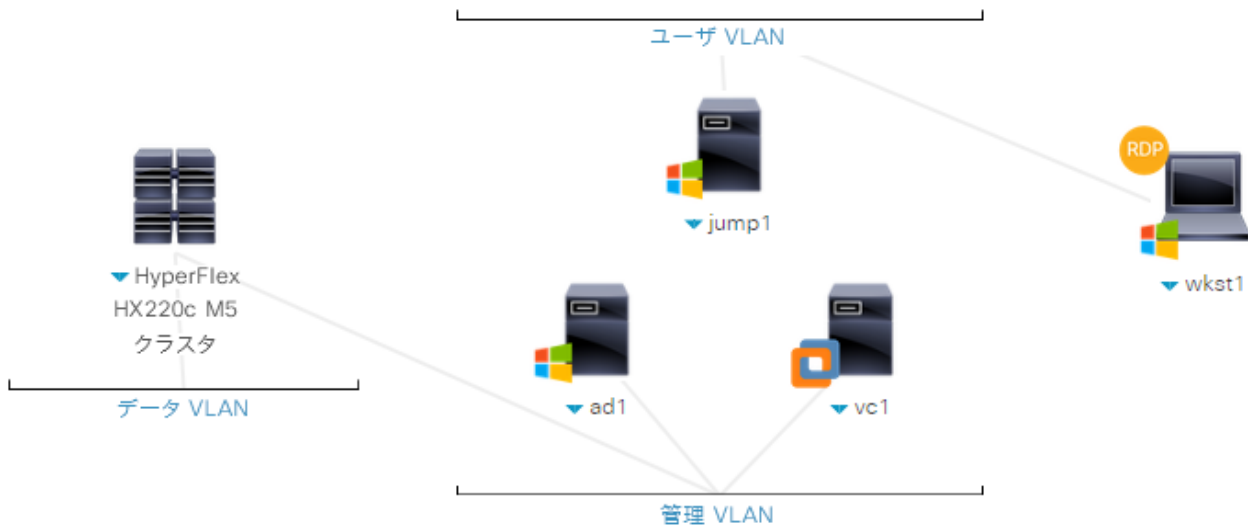
- 完全に分散したログ構造化ファイルシステム
- フラッシュフレンドリ アーキテクチャによる優れたパフォーマンスと低遅延
- 重複排除と圧縮によるインラインデータ最適化
- コンピューティングとストレージリソースを個別に拡張できる柔軟性
- ハードウェアベースの自己暗号化ディスク (SED) による保存データの暗号化
- NVMe (Non-Volatile Memory Express) ベースのソリッドステートディスク (SSD) のサポート
- 仮想マシンスナップショットのネイティブ複製

Cisco HyperFlex Edge は、リモートサイト、ブランチオフィス、およびエッジ環境向けに最適化されたバージョンの Cisco HyperFlex システムです。Cisco® ハイパーコンバージド ソリューションの小型フォームファクタである Cisco HyperFlex Edge により、Cisco UCS ファブリック インターコネクタに接続しなくても、次世代ハイパーコンバージド プラットフォームのすべての能力が得られます。Cisco HyperFlex Edge は、広範なエッジロケーションコンピューティング、GPU アクセラレーション、ストレージの要件を容易に満たす 2、3、または 4 ノードのクラスタ構成をサポートしています。このソリューションは、Cisco UCS、Cisco HyperFlex システム、および VMware ソリューション用の既存の個別ツールを使用して、設定、展開、管理、およびモニタできます。Cisco HyperFlex Edge クラスタは、Cisco Intersight、VMware vCenter または HTML5 ベースのネイティブ Cisco HyperFlex Connect 管理ツールを使用して管理できます。Cisco Intersight プラットフォームを使用すれば、クラウドからソリューションを展開し、管理することができます。これにより、展開サイトに経験豊富な IT スタッフがいなくても、Cisco HyperFlex システムの低コストで容易に展開できるリモート管理機能をエッジ環境に導入できます。

## トポロジ

このコンテンツには、スクリプト形式のシナリオと、ソリューションの機能を実例で示すために事前設定された管理ユーザとコンポーネントが含まれています。コンポーネントのほとんどは、あらかじめ定義された管理ユーザアカウントを使用してすべて設定できます。コンポーネントへのアクセスに使用する IP アドレスとユーザ アカウント クレデンシャルは、アクティブセッションの [トポロジ (Topology) ] メニューのコンポーネントアイコンをクリックして確認するか、クレデンシャルが必要となるシナリオ内の手順で確認できます。

### dCloud のトポロジ



## はじめに

### プレゼンテーションの前に

Cisco dCloud では、実際の対象者の前でプレゼンテーションを行う前に、アクティブなセッションを使用して、このドキュメントのタスクを実施しておくことを強く推奨します。そうすることで、ドキュメントとコンテンツの構成に慣れることができます。

場合によっては、環境を元の構成にリセットするため、このガイドのシナリオを完了した後に新しいセッションをスケジュールする必要があります。

**プレゼンテーションを成功させるには入念な準備が不可欠です**

次の手順に従ってコンテンツのセッションをスケジュールし、プレゼンテーション環境を設定します。

1. dCloud セッションを開始します。[[手順を見る](#)] [英語]

**注：**セッションがアクティブになるまで最長で 30 分かかることがあります。

2. 利用可能ないずれかの接続方法を使用して、ワークステーションに接続します。
  - Cisco dCloud リモート デスクトップ クライアント [[手順を見る](#)]

## シナリオ 1. Cisco HyperFlex Edge クラスタの作成とインストール

**価値提案** : Cisco Intersight には、Cisco HyperFlex Edge クラスタをインストール、構成、展開するためのインストールウィザードが用意されています。このウィザードでは、Cisco HyperFlex クラスタプロファイルと呼ばれる Edge クラスタの事前構成定義を作成します。クラスタプロファイルは、管理者が定義した一連のルールと動作特性（ノード ID、インターフェイス、vCenter の接続性など）から成るポリシーに基づいています。Edge クラスタ内のアクティブなノードはすべて、Cisco HyperFlex クラスタプロファイルと関連付けられている必要があります。ユーザがすべての設定を入力すると、インストールウィザードによって、Cisco HyperFlex Edge ノードでクラスタプロファイルが検証および展開されます。正常に展開された Cisco HyperFlex クラスタプロファイルを複製し、それをテンプレートとして使用して多数の新しいクラスタを簡単に作成できます。

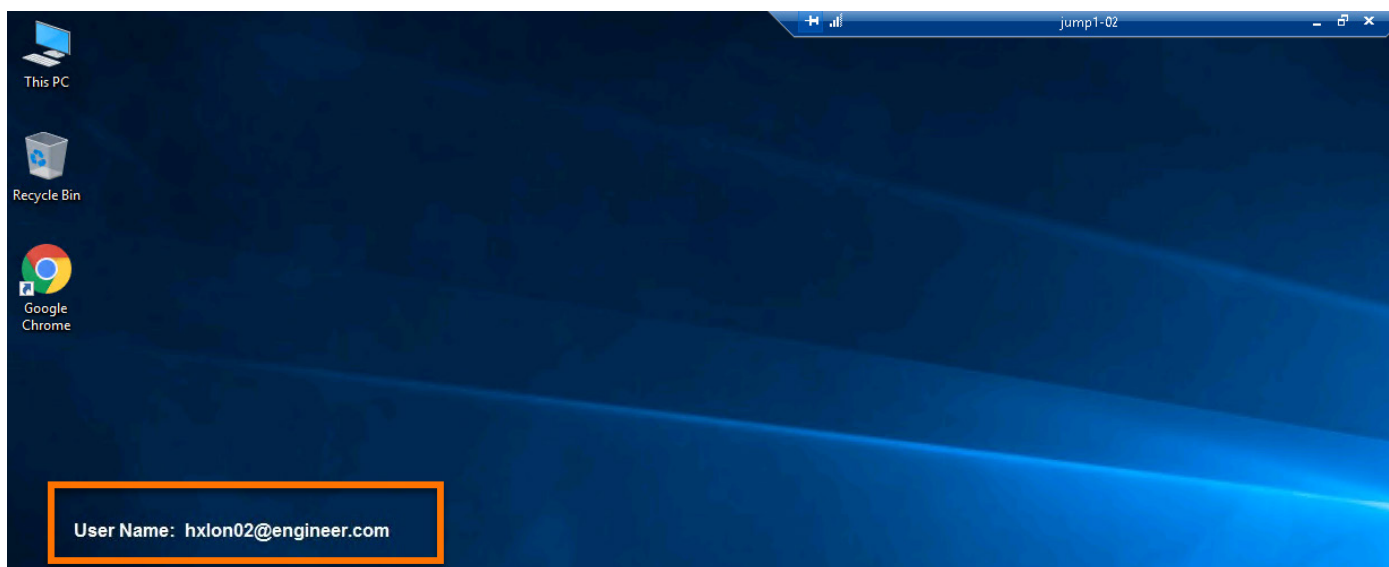
### ステップ

**注** : 必要に応じて [はい (Yes) ] をクリックし、リモートデスクトップ接続の警告を無視してください。

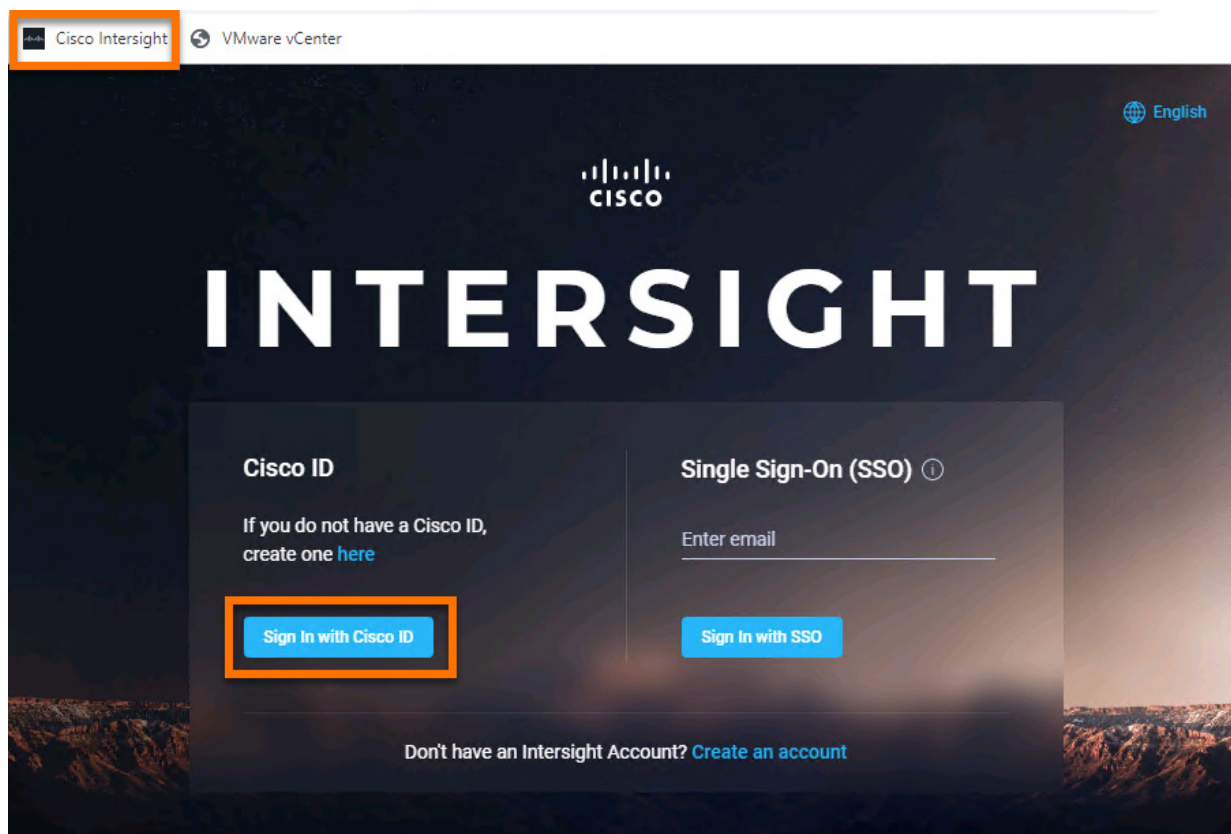
1. ワークステーションから、[ジャンプサーバ (Jump Server) ] アイコンをダブルクリックし、自動的にログインします。



2. [ジャンプサーバ (Jump Server) ] ページにユーザ ID が表示されます。これは Cisco Intersight にログインする際に使用するのと同じユーザ ID です。

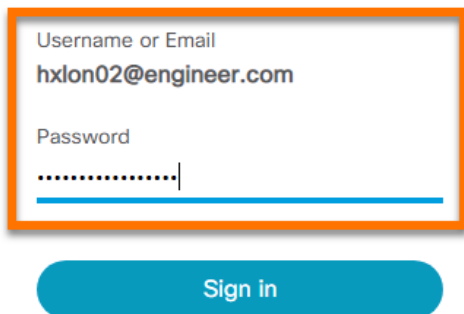


3. Chrome ブラウザを開き、[Cisco Intersight ブックマーク (Cisco Intersight bookmark) ] タブをクリックします。
4. [Cisco ID でサインイン (Sign in with Cisco ID) ] をクリックします。



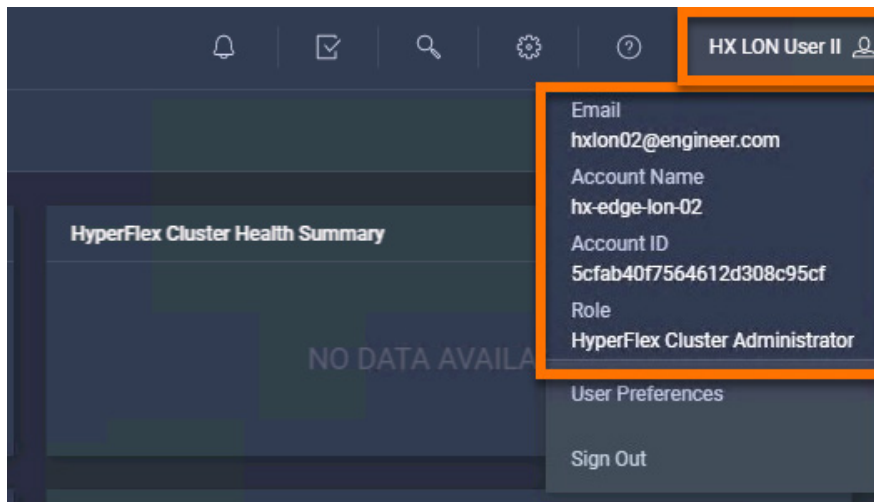
5. [ユーザ名 (Username) ] フィールドにデスクトップのユーザ名を入力し、[次へ (Next) ] をクリックします。
6. [パスワード (Password) ] フィールドをクリックし、[Chrome 自動入力 (Chrome auto fill) ] オプションを選択して、[サインイン (Sign in) ] をクリックします。

Welcome

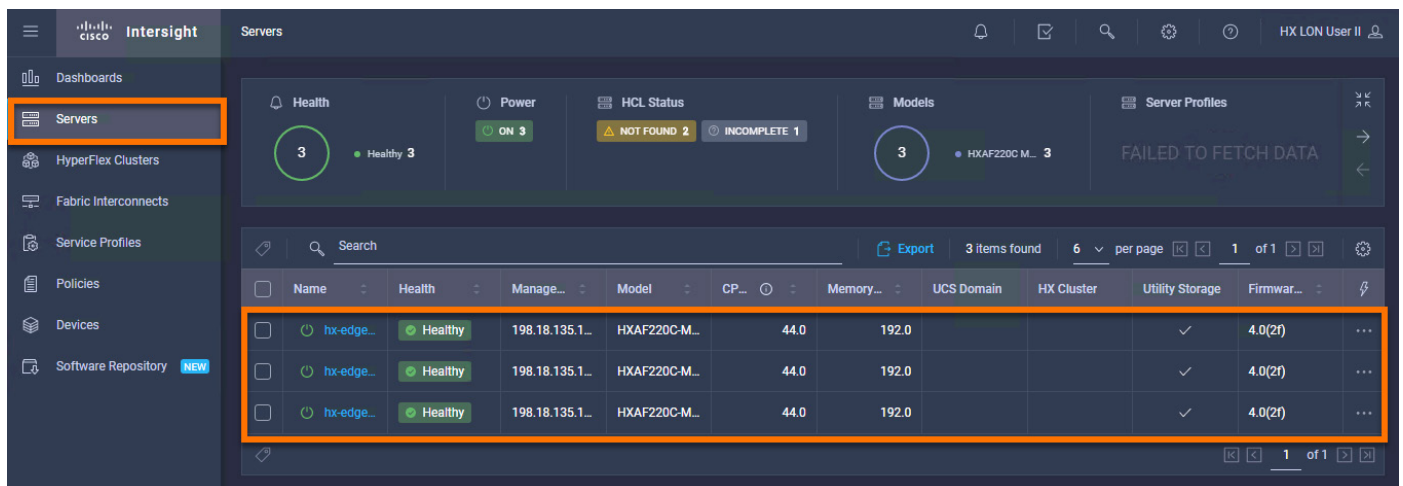


注 : [サイトツアーに参加 (Take a Site Tour) ] ウィンドウが表示される場合は、[閉じる (Close) ] をクリックします。

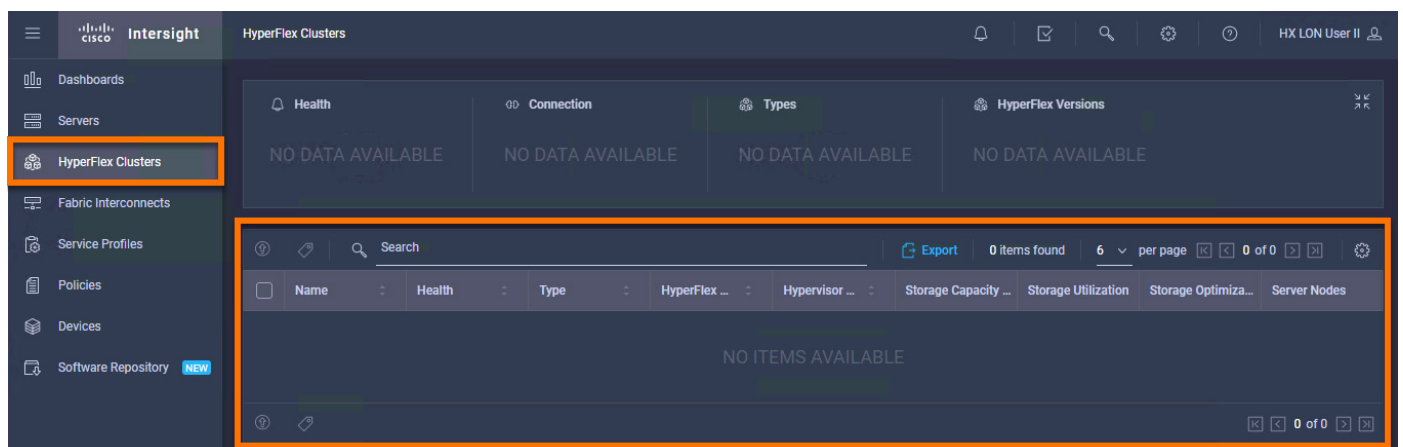
7. 右上隅の [プロフィール (Profile) ] をクリックします。このエリアには、ログイン情報と、ユーザ ID に割り当てられたロールが表示されます。



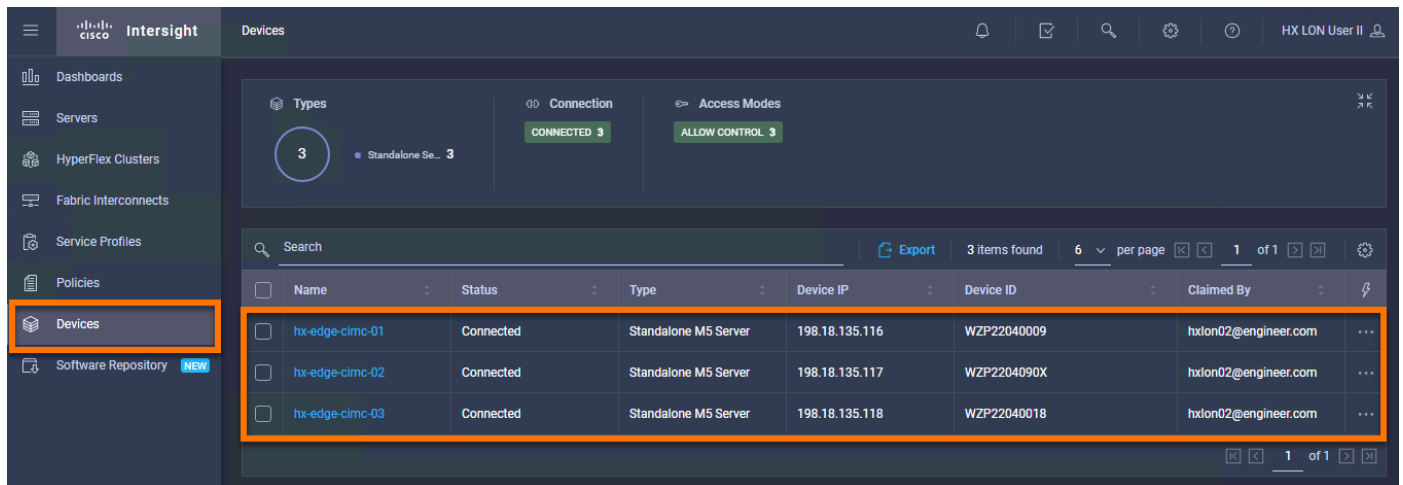
8. メニューで [サーバ (Servers) ] を選択します。ここには、HyperFlex クラスタに展開される 3 台のサーバが表示されます。



9. メニューで [HyperFlex クラスタ (HyperFlex Clusters) ] をクリックします。クラスタはまだ展開されていないため、この時点ではここには何も表示されません。



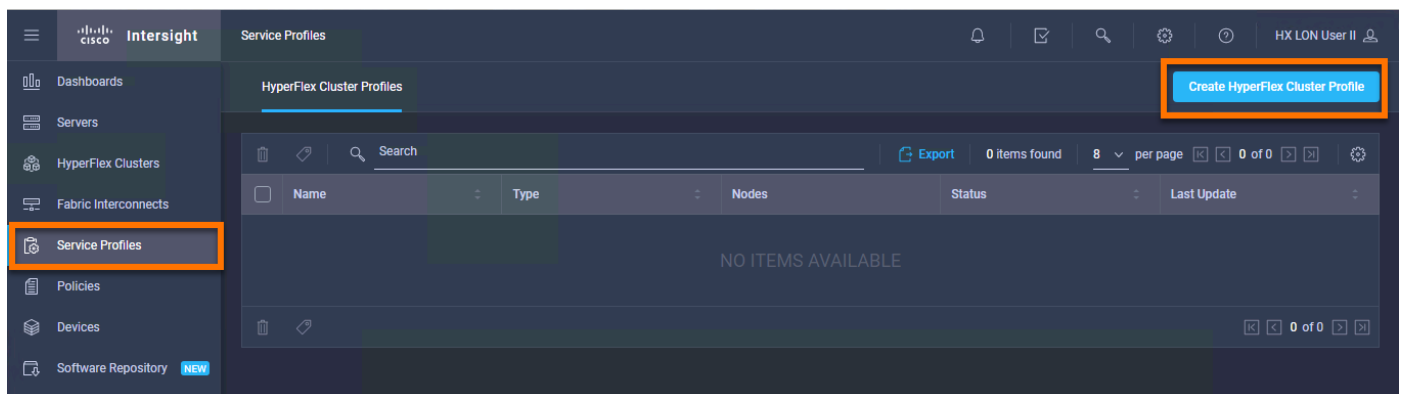
10. メニューで [デバイス (Devices)] をクリックします。ここにも、[サーバ (Servers)] 画面の 3 台のサーバが表示されます。クラスタを展開すると、このリストにクラスタが表示されます。



Name	Status	Type	Device IP	Device ID	Claimed By
hx-edge-cimc-01	Connected	Standalone M5 Server	198.18.135.116	WZP22040009	hxlion02@engineer.com
hx-edge-cimc-02	Connected	Standalone M5 Server	198.18.135.117	WZP2204090X	hxlion02@engineer.com
hx-edge-cimc-03	Connected	Standalone M5 Server	198.18.135.118	WZP22040018	hxlion02@engineer.com

11. メニューで [サービスプロファイル (Service Profiles)] を選択します。

12. [サービスプロファイル (Service Profiles)] ページで、[HyperFlex クラスタプロファイルの作成 (Create HyperFlex Cluster Profile)] をクリックします。



注：HX クラスタプロファイルのインストールウィザードが表示されます。

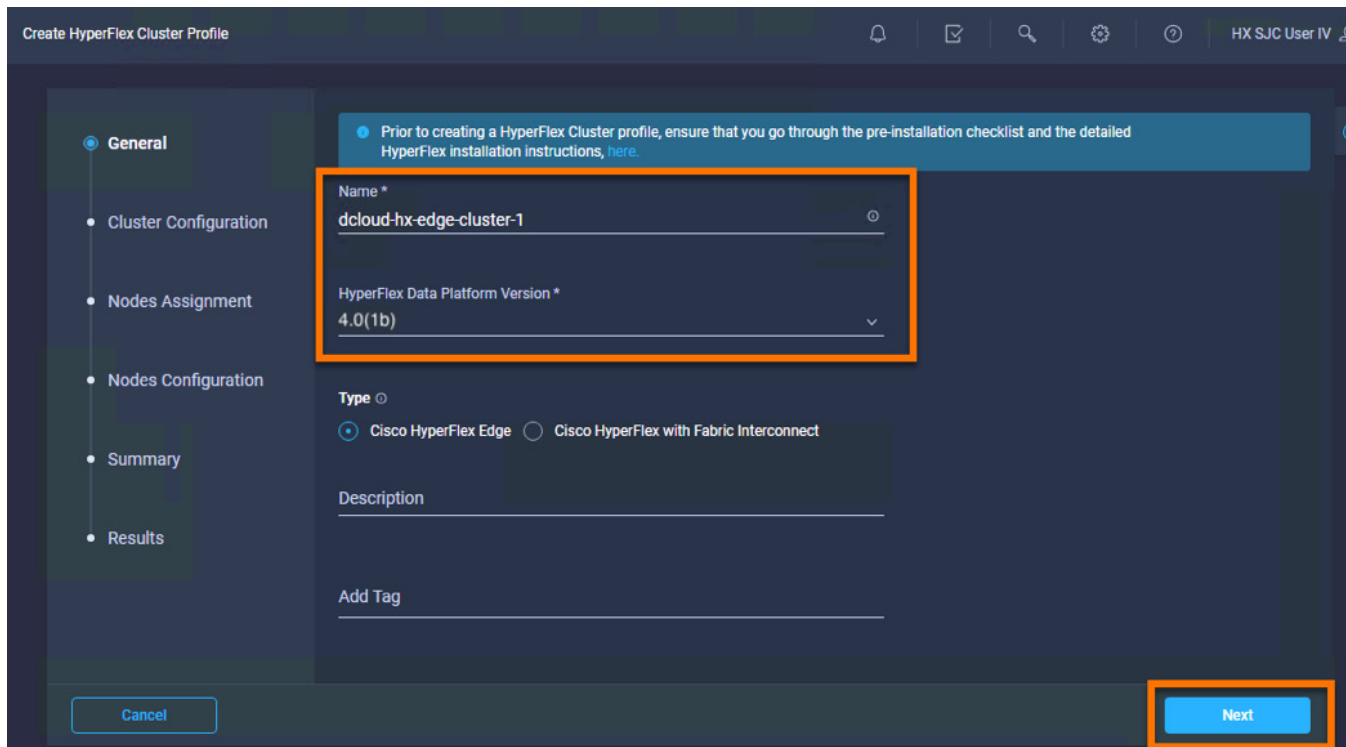


## 全般

13. [全般 (General) ] ページで次のように設定します。

- HX クラスタの [名前 (Name) ] : **dcloud-hx-edge-cluster-1**
- [HyperFlex データプラットフォームのバージョン (HyperFlex Data Platform Version) ] : **4.0(1b)**
- その他すべてのフィールド : **デフォルトのまま**

14. [次へ (Next) ] をクリックします。



Create HyperFlex Cluster Profile

Prior to creating a HyperFlex Cluster profile, ensure that you go through the pre-installation checklist and the detailed HyperFlex installation instructions, [here](#).

Name \*  
dcloud-hx-edge-cluster-1

HyperFlex Data Platform Version \*  
4.0(1b)

Type  Cisco HyperFlex Edge  Cisco HyperFlex with Fabric Interconnect

Description

Add Tag

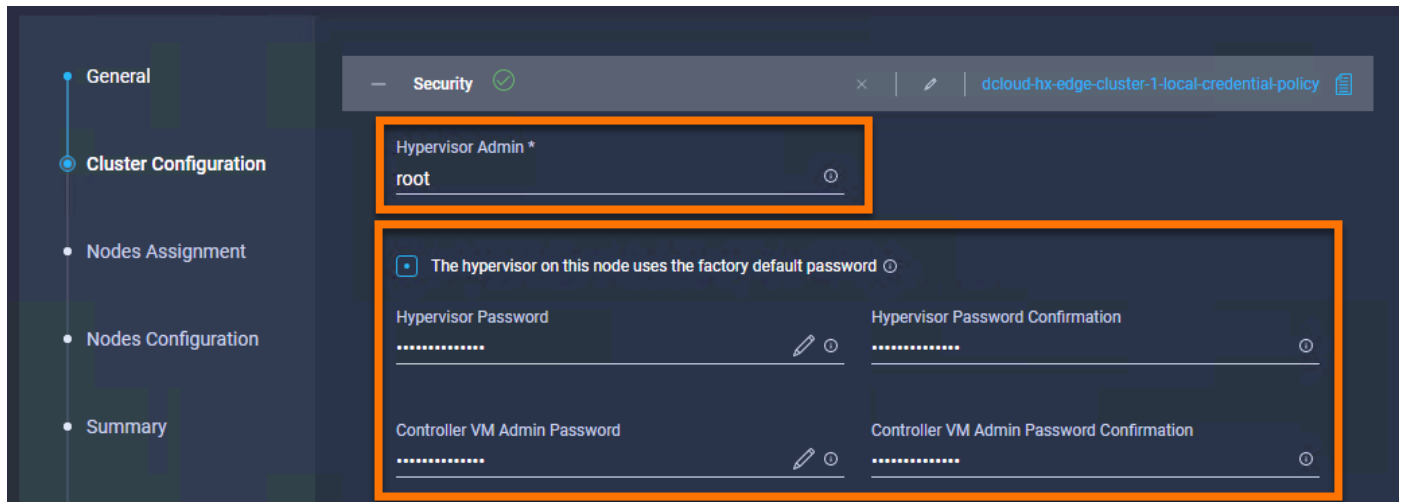
Cancel Next

## クラスタの設定

1. [+] 記号をクリックして、[セキュリティ (Security) ] 設定を展開します。次を入力します。

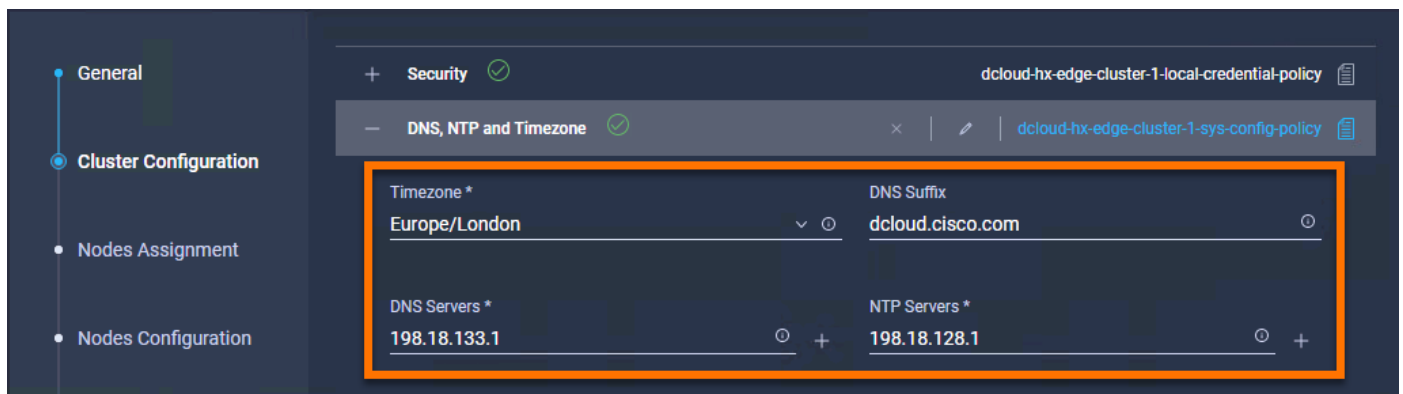
- [このノード上のハイパーバイザは工場出荷時のパスワードを使用する (The hypervisor on this node uses the factory default password) ] : **このボックスはオンのままにします。**
- [ハイパーバイザパスワード (Hypervisor Password) ] : **C1sco12345!**
- [ハイパーバイザパスワードの確認 (Hypervisor Password Confirmation) ] : **C1sco12345!**
- [コントローラ VM 管理者パスワード (Controller VM Admin Password) ] : **C1sco12345!**
- [コントローラ VM 管理者パスワードの確認 (Controller VM Admin Password Confirmation) ] : **C1sco12345!**

注：目のアイコンをクリックすると、すべてのパスワードエントリが表示されます。



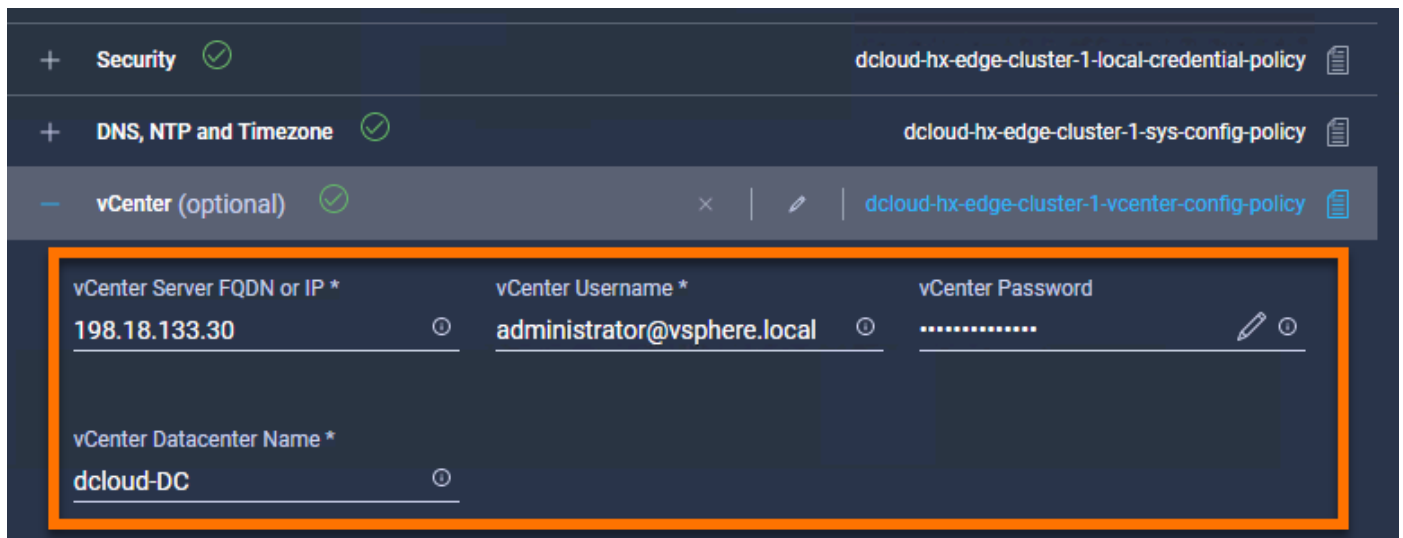
2. [DNS、NTP、タイムゾーン (DNS, NTP and Timezone) ]設定を展開します。次を入力します。

- [タイムゾーン (Timezone) ] : 任意のタイムゾーンを選択できます。次の例では、[欧州/ロンドン (Europe/London) ] が選択されています。
- [DNS サフィックス (DNS Suffix) ] : **dcloud.cisco.com**
- [DNS サーバ (DNS Server) ] : **198.18.133.1**
- [NTP サーバ (NTP Server) ] : **198.18.128.1**

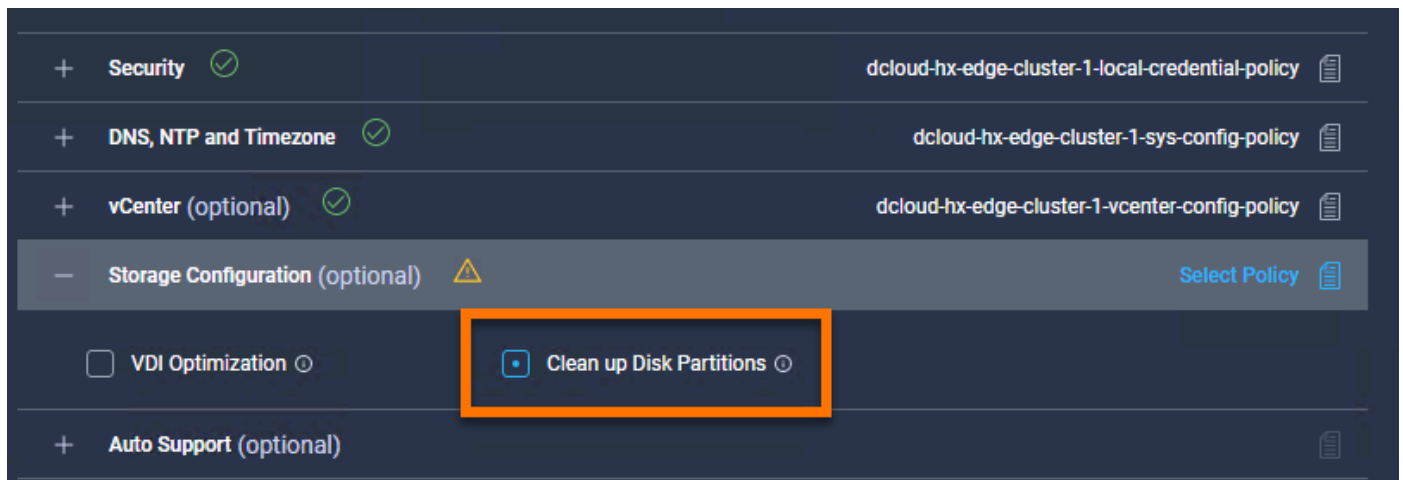


3. [vCenter] 設定を展開します。次を入力します。

- [vCenter サーバの FQDN または IP (vCenter Server FQDN or IP) ] : **198.18.133.30**
- [vCenter ユーザ名 (vCenter Username) ] : **administrator@vsphere.local**
- [vCenter パスワード (vCenter Password) ] : **C1sco12345!**
- [vCenter データセンター名 (vCenter Datacenter Name) ] : **dcloud-DC**

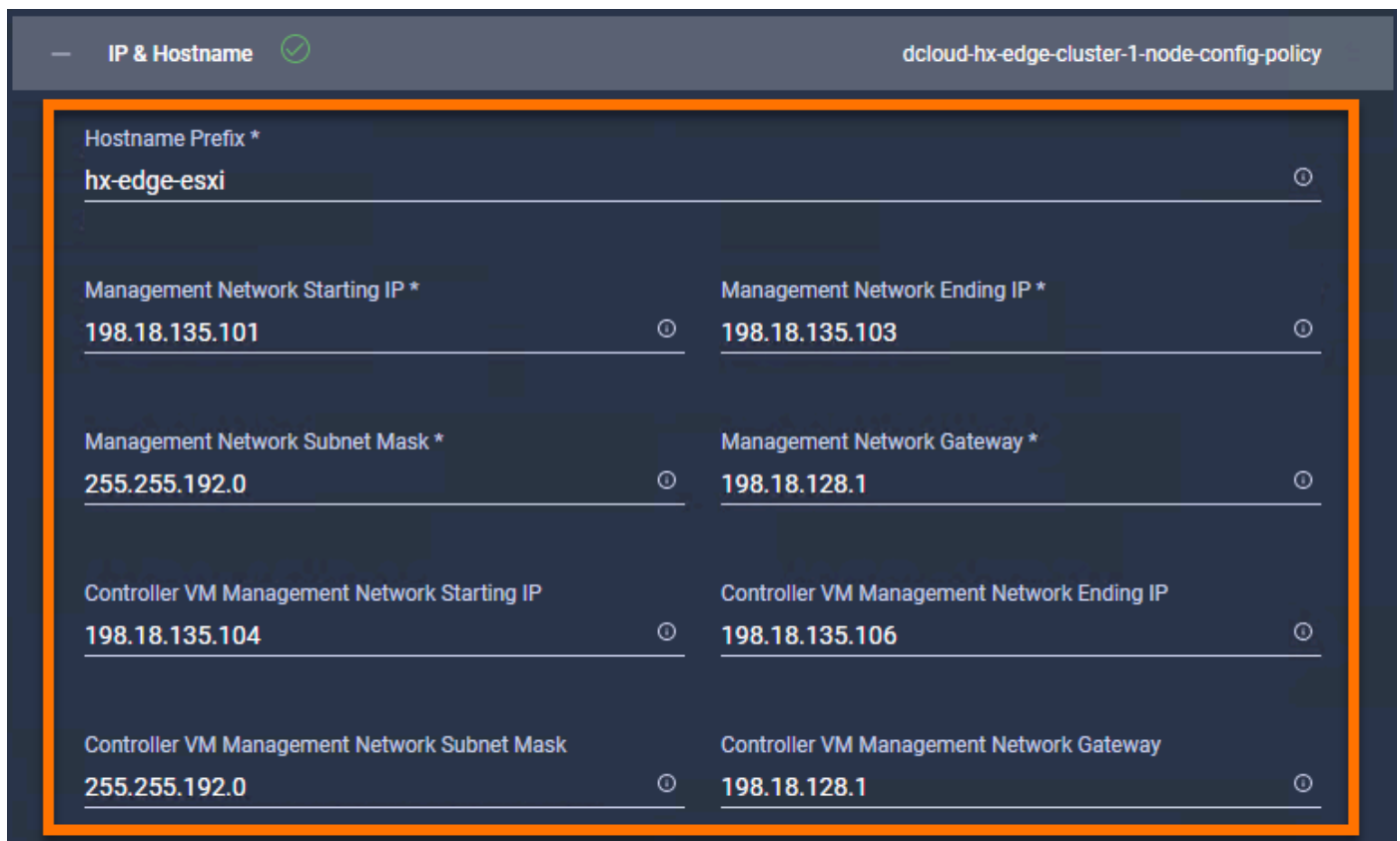


4. [ストレージ設定 (Storage Configuration) ] を展開します。[ディスクパーティションのクリーンアップ (Clean up Disk Partitions) ] をオンにします。



5. [IP &ホスト名 (IP & Hostname) ] 設定を展開します。次を入力します。

- [ホスト名プレフィックス (Hostname Prefix) ] : **hx-edge-esxi**
- [管理ネットワーク開始 IP (Management Network Starting IP) ] : **198.18.135.101**
- [管理ネットワーク終了 IP (Management Network Ending IP) ] : **198.18.135.103**
- [管理ネットワークサブネットマスク (Management Network Subnet Mask) ] : **255.255.192.0**
- [管理ネットワークゲートウェイ (Management Network Gateway) ] : **198.18.128.1**
- [コントローラ VM 管理ネットワーク開始 IP (Controller VM Management Network Starting IP) ] : **198.18.135.104**
- [コントローラ VM 管理ネットワーク終了 IP (Controller VM Management Network Ending IP) ] : **198.18.135.106**
- [コントローラ VM 管理ネットワークサブネットマスク (Controller VM Management Network Subnet Mask) ] : **255.255.192.0**
- [コントローラ VM 管理ネットワークゲートウェイ (Controller VM Management Network Gateway) ] : **198.18.128.1**



IP & Hostname <span>✓</span>		dcloud-hx-edge-cluster-1-node-config-policy	
Hostname Prefix *			
hx-edge-esxi			
Management Network Starting IP *			
198.18.135.101		Management Network Ending IP *	
		198.18.135.103	
Management Network Subnet Mask *			
255.255.192.0		Management Network Gateway *	
		198.18.128.1	
Controller VM Management Network Starting IP			
198.18.135.104		Controller VM Management Network Ending IP	
		198.18.135.106	
Controller VM Management Network Subnet Mask			
255.255.192.0		Controller VM Management Network Gateway	
		198.18.128.1	

6. [ネットワーク設定 (Network Configuration)] を展開します。次を入力します。

- [アップリンク速度 (Uplink Speed)] : **1G**
- [管理ネットワーク VLAN ID (Management Network VLAN ID)] : **0**
- [ジャンボフレーム (Jumbo Frames)] : **オフ**

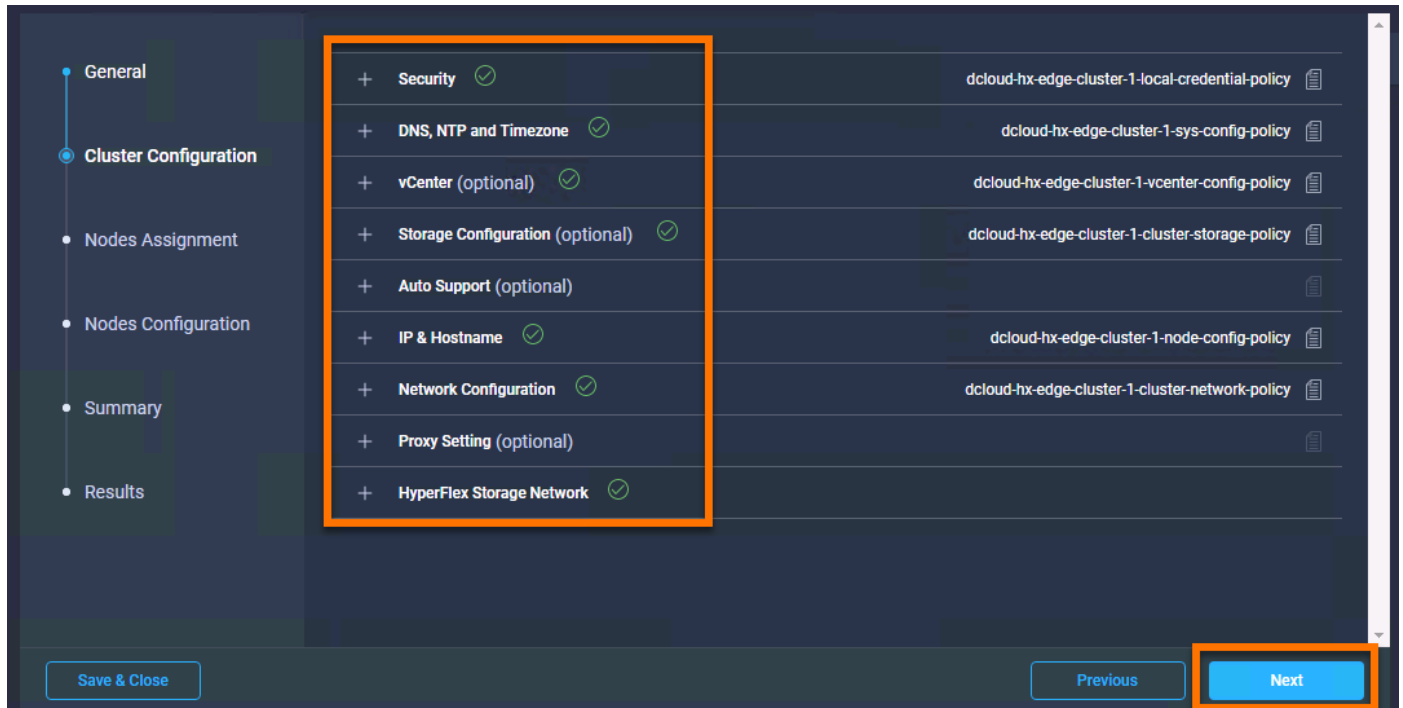


7. [HyperFlex ストレージネットワーク (HyperFlex Storage Network)] 設定を展開します。次を入力します。

- [ストレージネットワーク VLAN ID (Storage Network VLAN ID)] : **100**



8. 設定済みのすべてのポリシーの横に緑色のチェックマークが表示されていることを確認し、[次へ (Next)] をクリックします。



The screenshot shows the 'Cluster Configuration' section of the Cisco dCloud interface. A list of policies is displayed, each with a plus sign and a green checkmark, indicating they are configured. The 'Next' button is highlighted with an orange box.

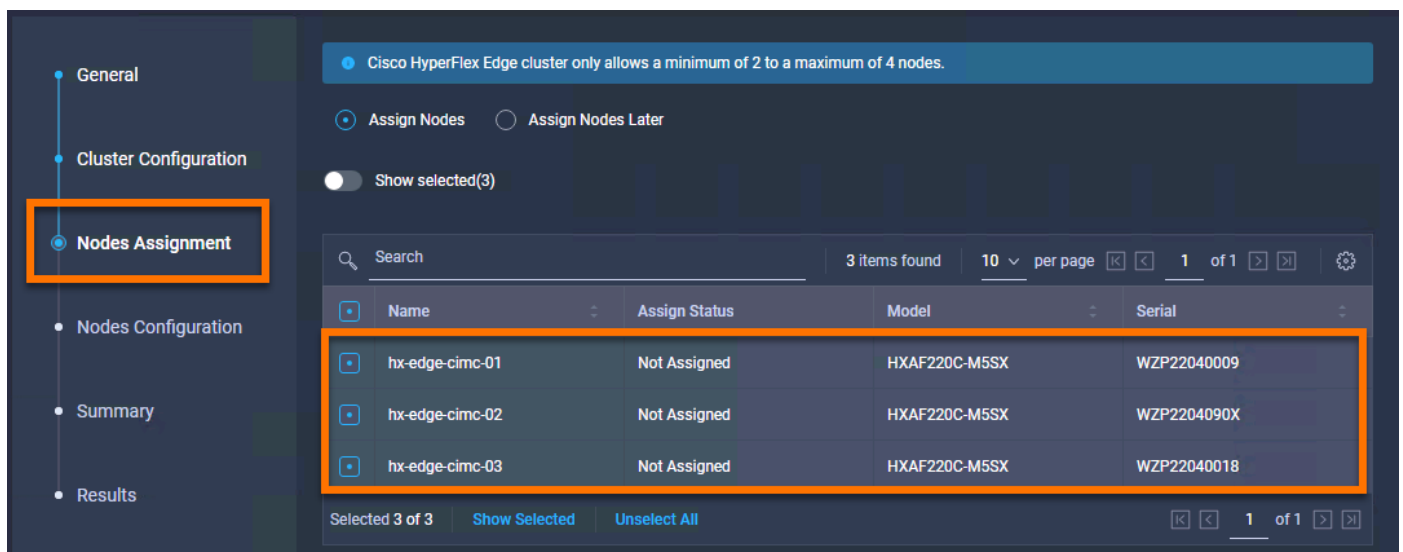
Policy Name	Status
dcloud-hx-edge-cluster-1-local-credential-policy	Configured (✓)
dcloud-hx-edge-cluster-1-sys-config-policy	Configured (✓)
dcloud-hx-edge-cluster-1-vcenter-config-policy	Configured (✓)
dcloud-hx-edge-cluster-1-cluster-storage-policy	Configured (✓)
dcloud-hx-edge-cluster-1-node-config-policy	Configured (✓)
dcloud-hx-edge-cluster-1-cluster-network-policy	Configured (✓)
dcloud-hx-edge-cluster-1-hyperflex-storage-network-policy	Configured (✓)

## ノードの割り当て

1. [ノード割り当て (Nodes Assignment)] 画面で、まず [hx-edge-cimc-01] の横にあるチェックボックス、次に [hx-edge-cimc-02] の横にあるチェックボックス、最後に [hx-edge-cimc-03] の横にあるチェックボックスの順番でオンにします。

注：ノードのチェックボックスは、番号順にオンにする必要があります。このデモンストレーションでは、3 つ未満のノードを選択することはできません。

2. [次へ (Next)] をクリックします。

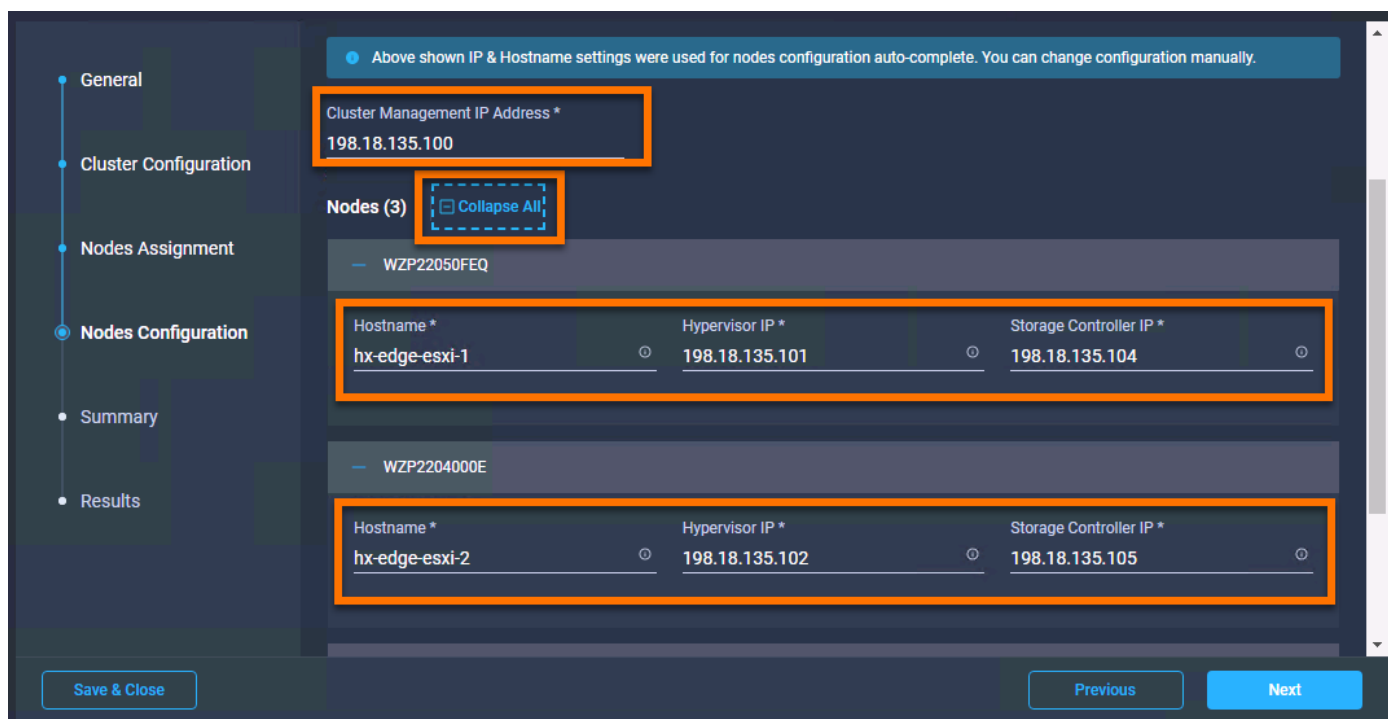


The screenshot shows the 'Nodes Assignment' section of the Cisco dCloud interface. A table lists three nodes with their respective models and serial numbers. The 'Assign Status' column shows 'Not Assigned' for all nodes. The 'Next' button is highlighted with an orange box.

Name	Assign Status	Model	Serial
hx-edge-cimc-01	Not Assigned	HXAF220C-M5SX	WZP22040009
hx-edge-cimc-02	Not Assigned	HXAF220C-M5SX	WZP2204090X
hx-edge-cimc-03	Not Assigned	HXAF220C-M5SX	WZP22040018

## ノードの設定

1. [ノード設定 (Nodes Configuration) ] 画面で、次のように入力します。
  - [クラスタ管理 IP アドレス (Cluster Management IP Address) ] : **198.18.135.100**
2. [+すべて展開 (+ Expand All) ] をクリックします。
3. 各 [ホスト名 (Hostname) ] フィールドはデフォルト値のままにします。
4. [次へ (Next) ] をクリックします。



● Above shown IP & Hostname settings were used for nodes configuration auto-complete. You can change configuration manually.

Cluster Management IP Address \*  
198.18.135.100

Nodes (3)

WZP22050FEQ

Hostname *	Hypervisor IP *	Storage Controller IP *
hx-edge-esxi-1	198.18.135.101	198.18.135.104

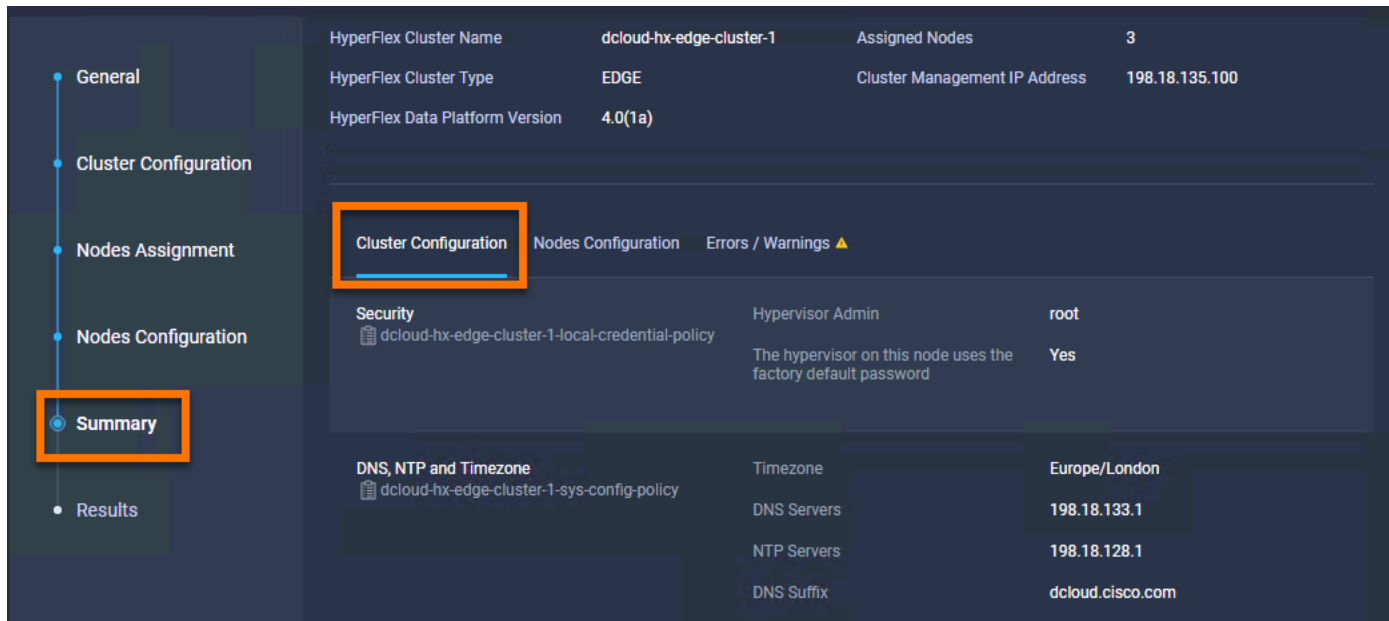
WZP2204000E

Hostname *	Hypervisor IP *	Storage Controller IP *
hx-edge-esxi-2	198.18.135.102	198.18.135.105

Save & Close Previous Next

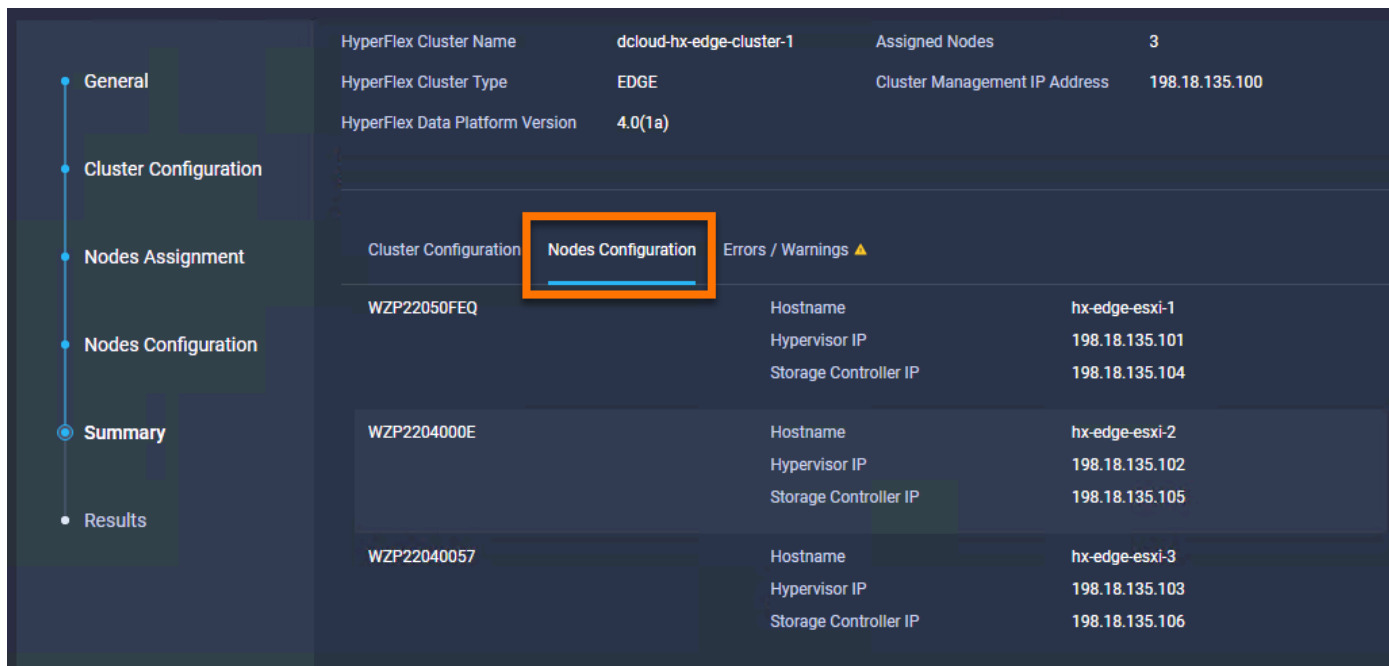
## サマリー

1. [クラスタ設定 (Cluster Configuration) ] の下で、入力済みのすべてのポリシー情報が正しいことを確認します。



HyperFlex Cluster Name	dcloud-hx-edge-cluster-1	Assigned Nodes	3
HyperFlex Cluster Type	EDGE	Cluster Management IP Address	198.18.135.100
HyperFlex Data Platform Version	4.0(1a)		
<div style="border: 1px solid orange; padding: 2px;">Cluster Configuration</div> Nodes Configuration    Errors / Warnings ▲			
<b>Security</b> dcloud-hx-edge-cluster-1-local-credential-policy		Hypervisor Admin	root
		The hypervisor on this node uses the factory default password	Yes
<b>DNS, NTP and Timezone</b> dcloud-hx-edge-cluster-1-sys-config-policy		Timezone	Europe/London
		DNS Servers	198.18.133.1
		NTP Servers	198.18.128.1
		DNS Suffix	dcloud.cisco.com

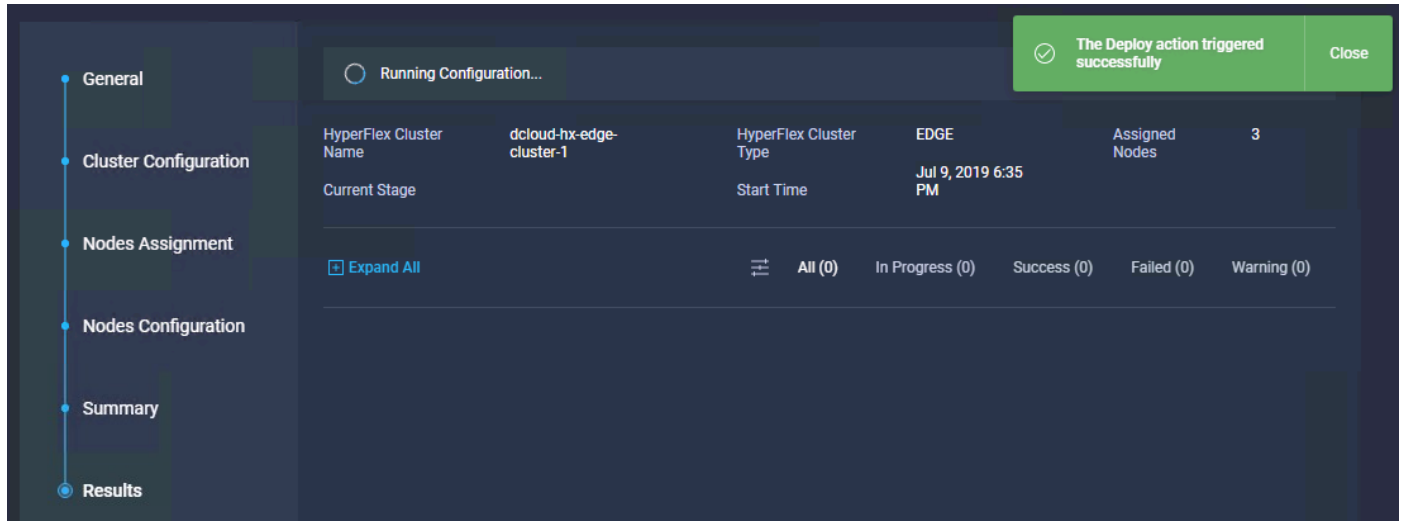
2. [ノード設定 (Nodes Configuration) ] の下で、入力済みのすべての情報が正しいことを確認します。



HyperFlex Cluster Name	dcloud-hx-edge-cluster-1	Assigned Nodes	3
HyperFlex Cluster Type	EDGE	Cluster Management IP Address	198.18.135.100
HyperFlex Data Platform Version	4.0(1a)		
<div style="border: 1px solid orange; padding: 2px;">Nodes Configuration</div> Cluster Configuration    Errors / Warnings ▲			
WZP22050FEQ	Hostname	hx-edge-esxi-1	
	Hypervisor IP	198.18.135.101	
	Storage Controller IP	198.18.135.104	
WZP2204000E	Hostname	hx-edge-esxi-2	
	Hypervisor IP	198.18.135.102	
	Storage Controller IP	198.18.135.105	
WZP22040057	Hostname	hx-edge-esxi-3	
	Hypervisor IP	198.18.135.103	
	Storage Controller IP	198.18.135.106	



3. [検証と展開 (Validate & Deploy) ] をクリックします。



4. 検証および展開プロセスは、完了までに約 90 ~ 120 分かかります。[ジャンプサーバ (jumpserver) ] ウィンドウを最小化し、デスクトップの [HX 通知ツール (HX Notification Tool) ] アイコンをクリックします。



5. HyperFlex Edge クラスタ名の入力を求められたら、[入力 (Enter) ] をクリックしてデフォルトのままにします。

6. 入力を求められたら、**自分の電子メールアドレスを入力します**。HyperFlex 通知ツールが HyperFlex Edge クラスタの展開ステータスに関する通知を送信したら、シナリオ 2 に戻ることができます。

```
Thank you rgiorgi.
The HyperFlex Edge cluster to be monitored is named:
'dcloud-hx-edge-cluster-1'
The notification emails will be sent to:
'rgiorgi@cisco.com'
Please re-run the HX Notification Tool if the name of the HyperFlex
Edge cluster and/or the email address listed above are incorrect.
Otherwise, please press Enter to close the HX Notification Tool window.
A standalone version of this tool can be found on the Cisco DevNet Code Exchange at
https://developer.cisco.com/codeexchange/github/repo/ugo-emekauwa/hyper-flex-notification-tool
```

## シナリオ 2. 構築されたクラスタの確認

**価値提案**：クラスタが正常に展開されたことを通知する電子メールが届いたら、シナリオ 2 を開始できます。

### BRIEF INFO

Alert: Successful Deployment

Targeted HX Cluster: dcloud-hx-edge-cluster-1

dCloud Session ID: 184948

dCloud Data Center: SJC

Hello uemekauw,

The deployment for the HyperFlex Edge cluster named dcloud-hx-edge-cluster-1 has completed successfully and is now available!  
Please log back into your dCloud session to access the cluster.

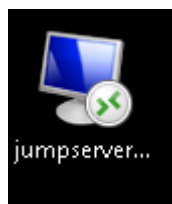
Thank you!

## ステップ

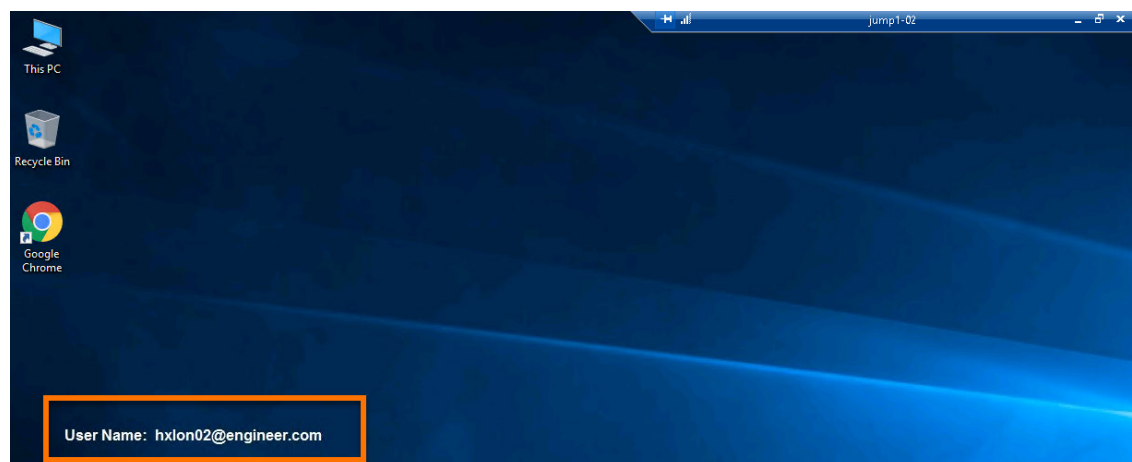
**注**：必要に応じて [はい (Yes) ] をクリックし、リモートデスクトップ接続の警告を無視してください。

### 構築されたクラスタの確認

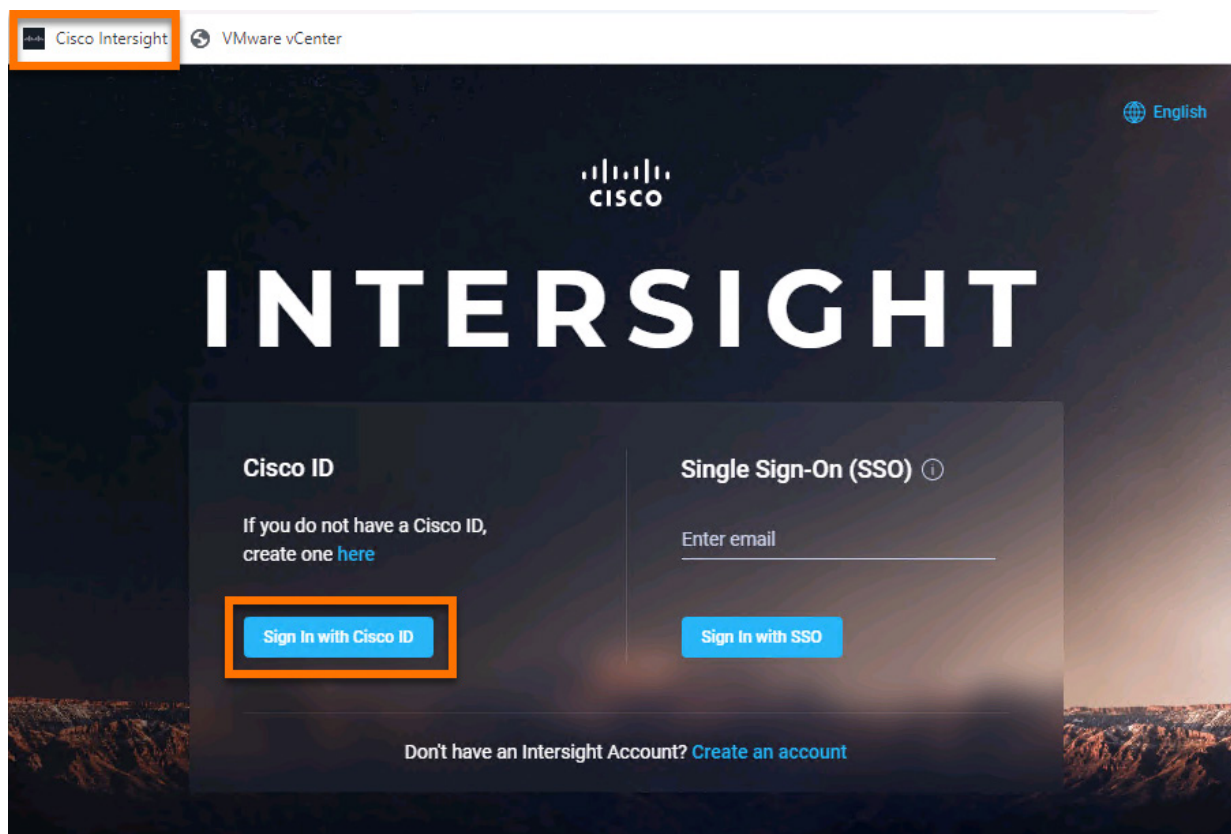
1. ワークステーションから、[ジャンプサーバ (Jump Server) ] アイコンをダブルクリックし、自動的にログインします。



2. [ジャンプサーバ (Jump Server) ] ページにユーザ ID が表示されます。これは Cisco Intersight にログインする際に使用するのと同じユーザ ID です。

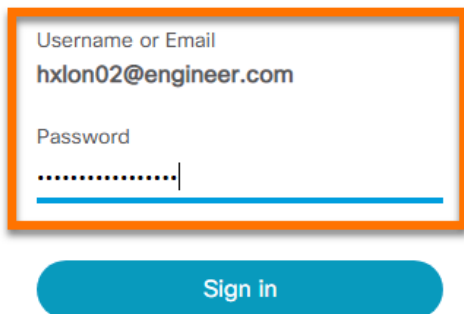


3. Chrome ブラウザを開き、[Cisco Intersight ブックマーク (Cisco Intersight bookmark) ] タブをクリックします。
4. [Cisco ID でサインイン (Sign in with Cisco ID) ] をクリックします。



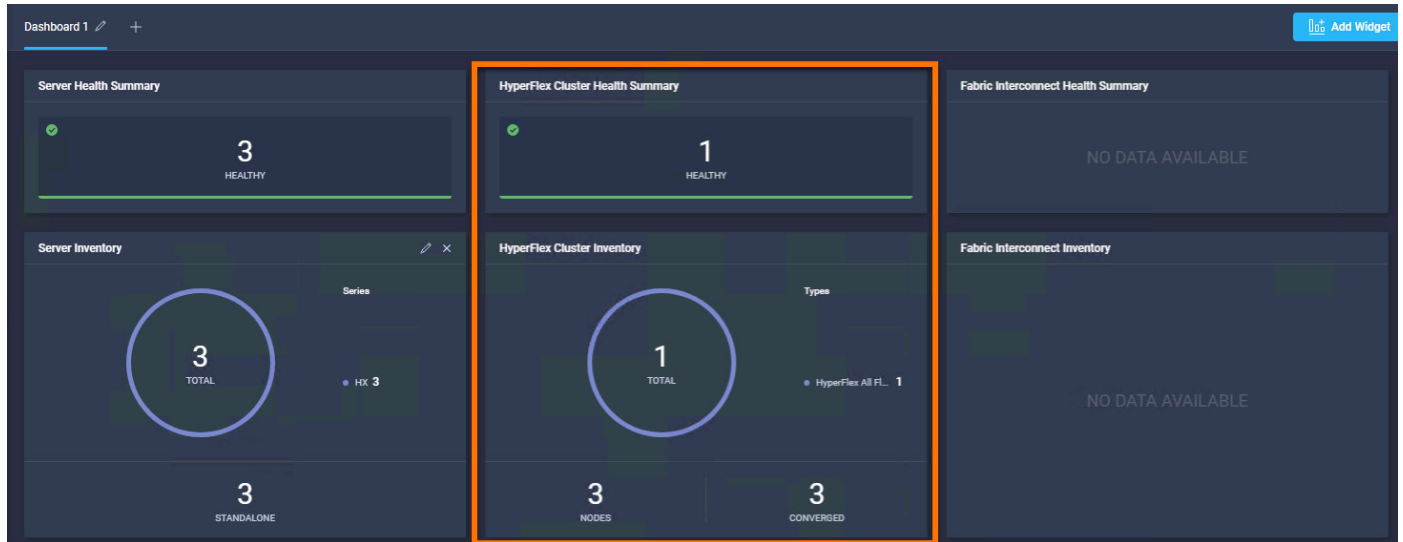
5. [ユーザ名 (Username) ] フィールドにデスクトップのユーザ名を入力し、[次へ (Next) ] をクリックします。
6. [パスワード (Password) ] フィールドをクリックし、[Chrome 自動入力 (Chrome auto fill) ] オプションを選択して、[サインイン (Sign in) ] をクリックします。

Welcome

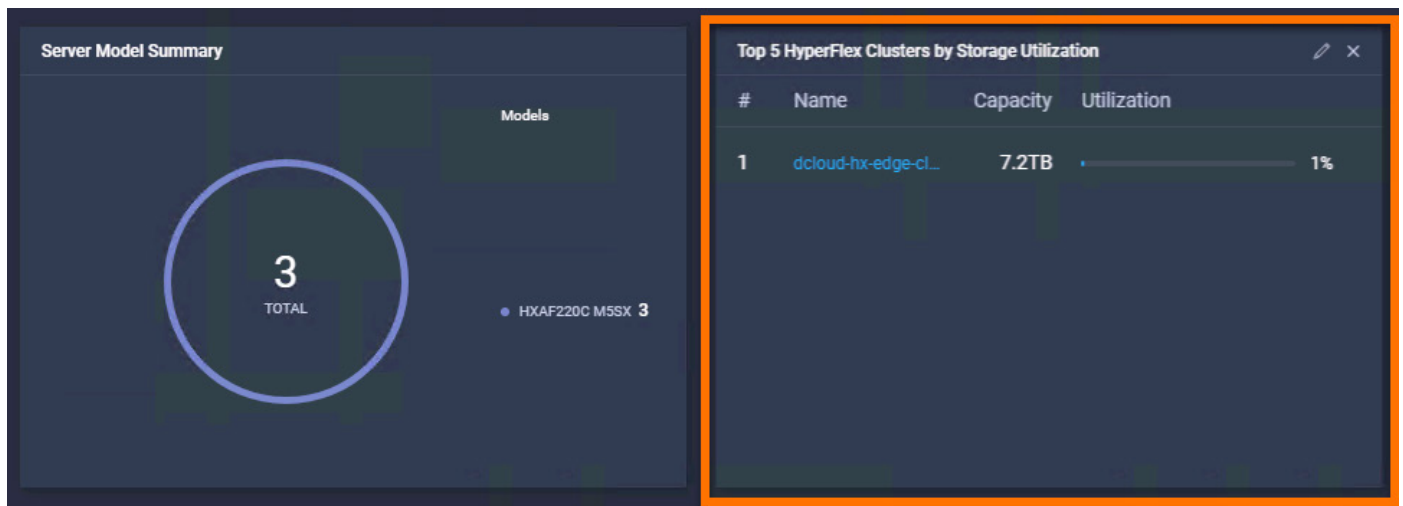


注 : [サイトツアーに参加 (Take a Site Tour) ] ウィンドウが表示される場合は、[閉じる (Close) ] をクリックします。

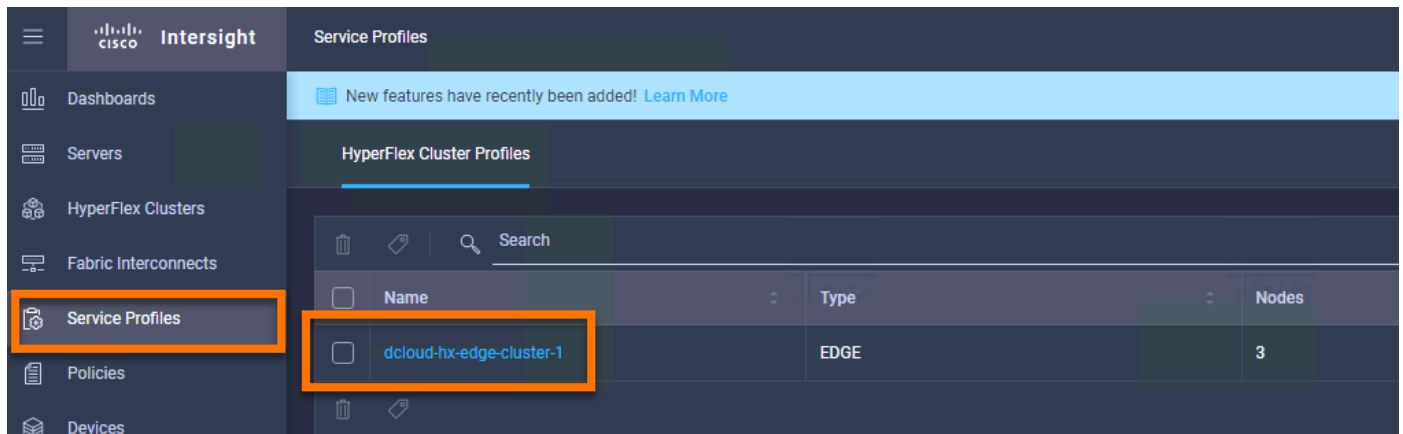
7. ダッシュボードに、健全な状態の HyperFlex クラスタが表示されます。



8. ストレージ使用率は、クラスタが現在ストレージの容量をほとんど使用していないことを示しています。



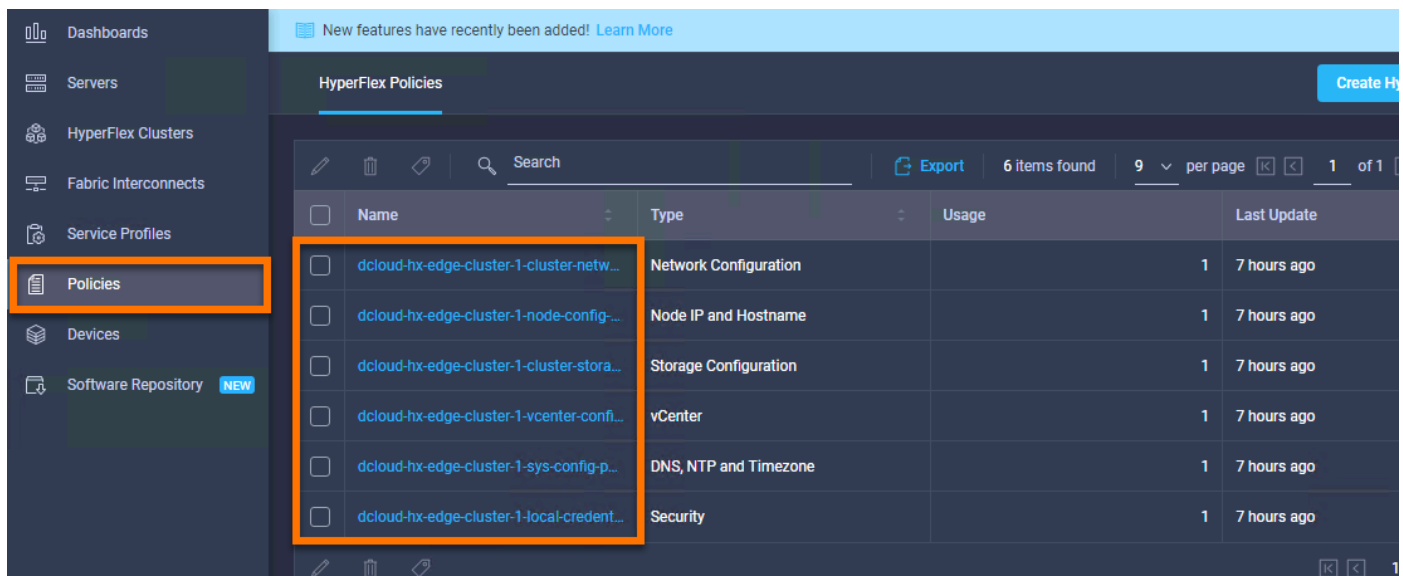
9. メニューから [サービスプロファイル (Service Profiles)] をクリックします。リストに HyperFlex クラスタプロファイルが表示されます。



The screenshot shows the Cisco dCloud interface. The left sidebar has 'Service Profiles' highlighted with an orange box. The main content area is titled 'Service Profiles' and 'HyperFlex Cluster Profiles'. A table lists the profiles:

Name	Type	Nodes
dcloud-hx-edge-cluster-1	EDGE	3

10. メニューから [ポリシー (Policies)] をクリックします。HyperFlex クラスタプロファイルから自動的に生成されたポリシーのリストが表示されます。

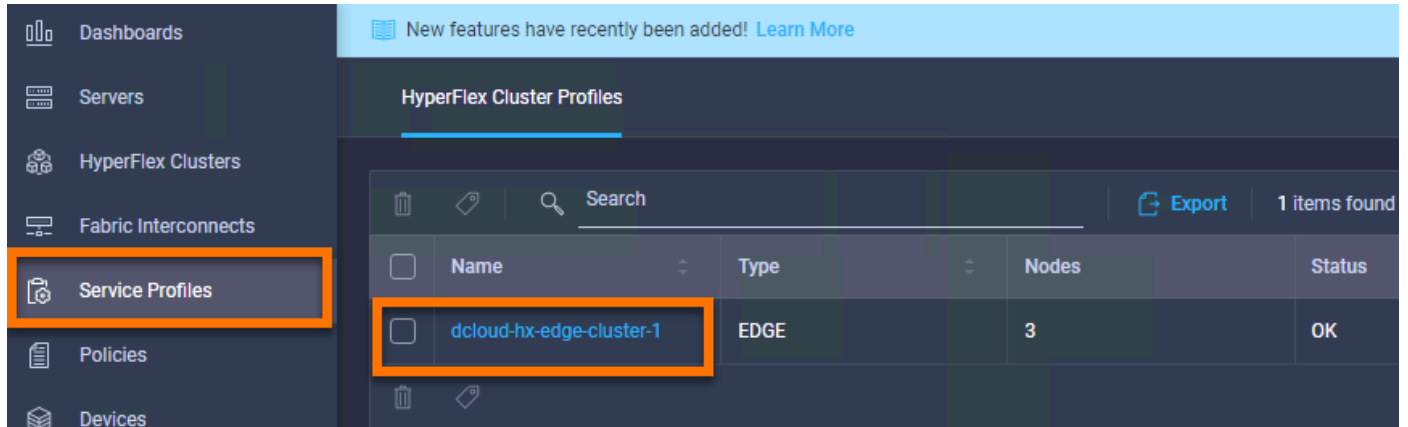


The screenshot shows the Cisco dCloud interface. The left sidebar has 'Policies' highlighted with an orange box. The main content area is titled 'HyperFlex Policies'. A table lists the policies:

Name	Type	Usage	Last Update
dcloud-hx-edge-cluster-1-cluster-netw...	Network Configuration	1	7 hours ago
dcloud-hx-edge-cluster-1-node-config-...	Node IP and Hostname	1	7 hours ago
dcloud-hx-edge-cluster-1-cluster-stora...	Storage Configuration	1	7 hours ago
dcloud-hx-edge-cluster-1-vcenter-confi...	vCenter	1	7 hours ago
dcloud-hx-edge-cluster-1-sys-config-p...	DNS, NTP and Timezone	1	7 hours ago
dcloud-hx-edge-cluster-1-local-credent...	Security	1	7 hours ago

注：作成されたこれらのポリシーは、新しいすべての HyperFlex クラスタプロファイルで使用できます。

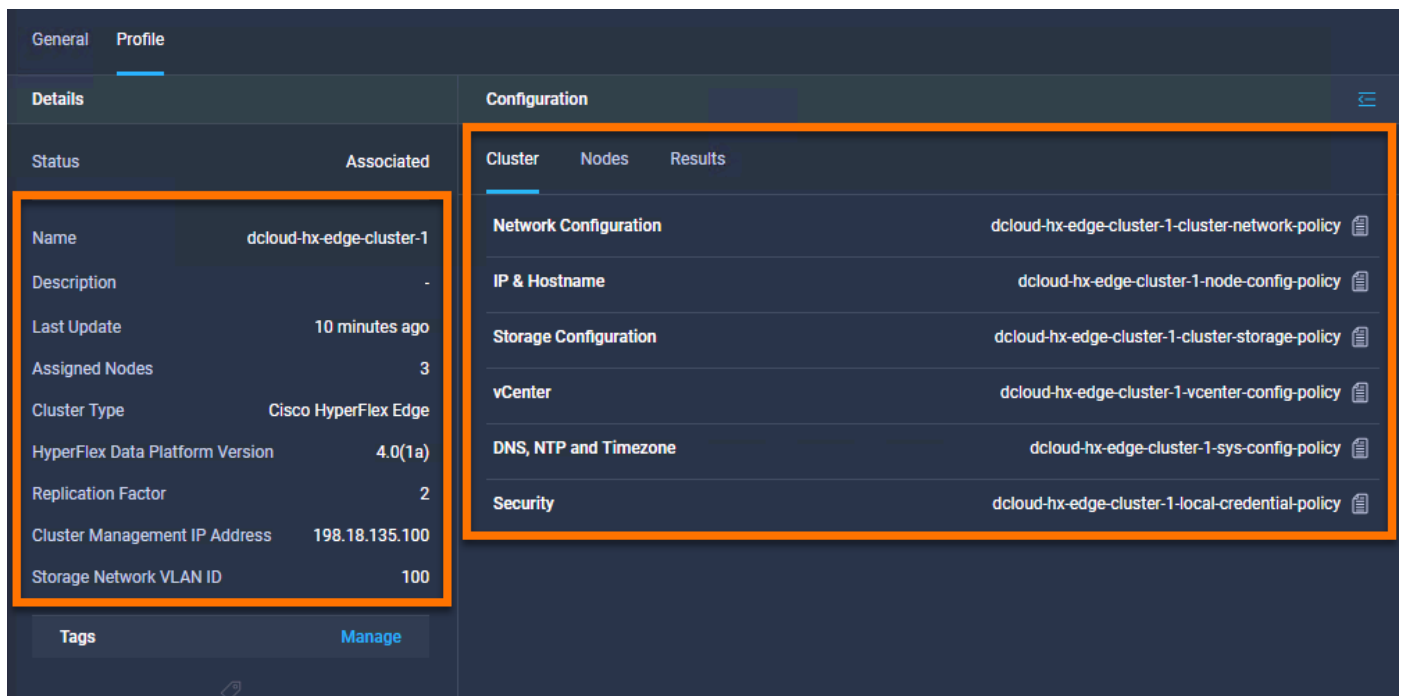
11. メニューから [サービスプロファイル (Service Profiles)] をクリックします。[HyperFlex クラスタプロファイル (HyperFlex cluster profile)] の名前をクリックします。



The screenshot shows the Cisco dCloud interface. On the left, a navigation menu has 'Service Profiles' highlighted with an orange box. The main content area is titled 'HyperFlex Cluster Profiles' and contains a table with one item. The table has columns for Name, Type, Nodes, and Status. The row for 'dcloud-hx-edge-cluster-1' has 'EDGE' for Type, '3' for Nodes, and 'OK' for Status. This row is also highlighted with an orange box.

Name	Type	Nodes	Status
dcloud-hx-edge-cluster-1	EDGE	3	OK

12. [プロファイル (Profile)] ページには、クラスタ、ノード、結果の設定情報を含むクラスタプロファイルの詳細が表示されます。



The screenshot shows the 'Profile' page for 'dcloud-hx-edge-cluster-1'. It is divided into 'Details' and 'Configuration' sections. The 'Details' section on the left lists various attributes and their values. The 'Configuration' section on the right lists several configuration policies. Both sections are highlighted with orange boxes.

Attribute	Value
Name	dcloud-hx-edge-cluster-1
Description	-
Last Update	10 minutes ago
Assigned Nodes	3
Cluster Type	Cisco HyperFlex Edge
HyperFlex Data Platform Version	4.0(1a)
Replication Factor	2
Cluster Management IP Address	198.18.135.100
Storage Network VLAN ID	100

Configuration	Policy
Network Configuration	dcloud-hx-edge-cluster-1-cluster-network-policy
IP & Hostname	dcloud-hx-edge-cluster-1-node-config-policy
Storage Configuration	dcloud-hx-edge-cluster-1-cluster-storage-policy
vCenter	dcloud-hx-edge-cluster-1-vcenter-config-policy
DNS, NTP and Timezone	dcloud-hx-edge-cluster-1-sys-config-policy
Security	dcloud-hx-edge-cluster-1-local-credential-policy

13. [ノード (Nodes) ] タブをクリックします。このクラスタを構成するノードに関する情報が表示されます。

Cluster	Nodes	Results
WZP22040QVB	Hostname	hx-edge-esxi-1
	Hypervisor IP	198.18.135.101
	Storage Controller IP	198.18.135.104
WZP22040QPV	Hostname	hx-edge-esxi-2
	Hypervisor IP	198.18.135.102
	Storage Controller IP	198.18.135.105
WZP220400A8	Hostname	hx-edge-esxi-3
	Hypervisor IP	198.18.135.103
	Storage Controller IP	198.18.135.106

14. [結果 (Results) ] タブをクリックします。展開の結果が表示されます。

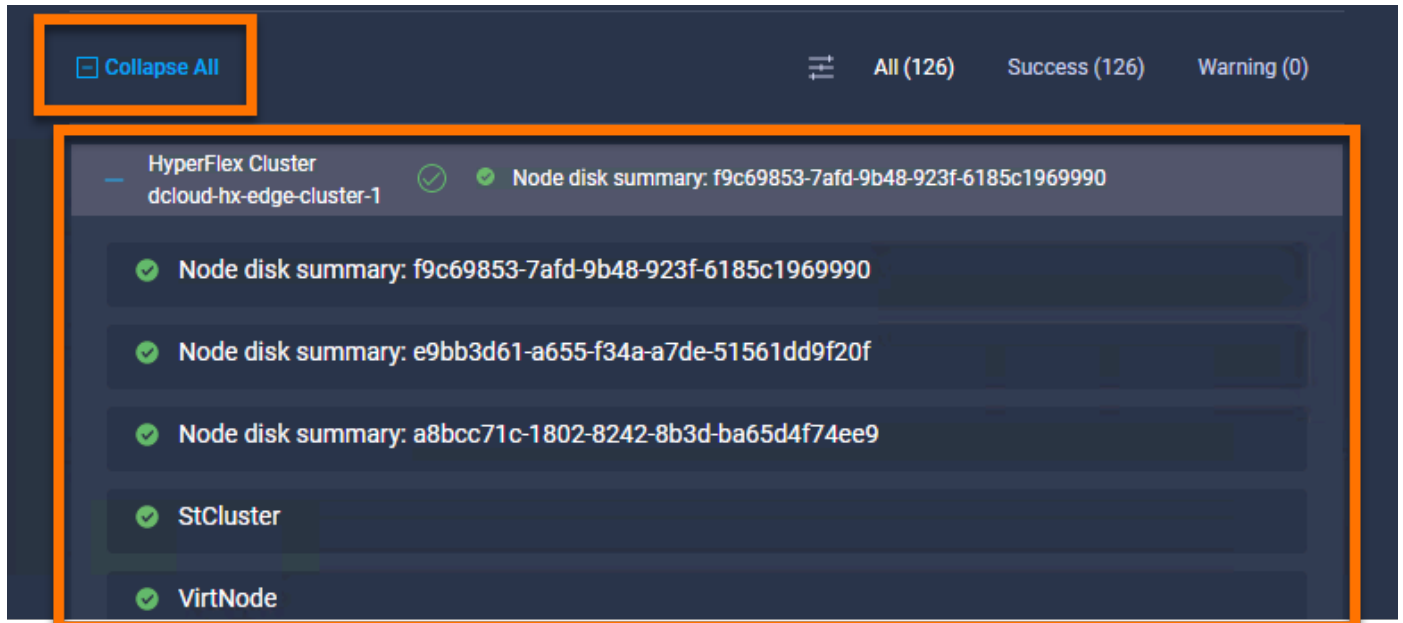
HyperFlex Cluster Name	dcloud-hx-edge-cluster-1	HyperFlex Cluster Type	EDGE	Assigned Nodes	3
Progress	100%	Start Time	Jul 9, 2019 7:21 PM	Duration	1h 11m 40s

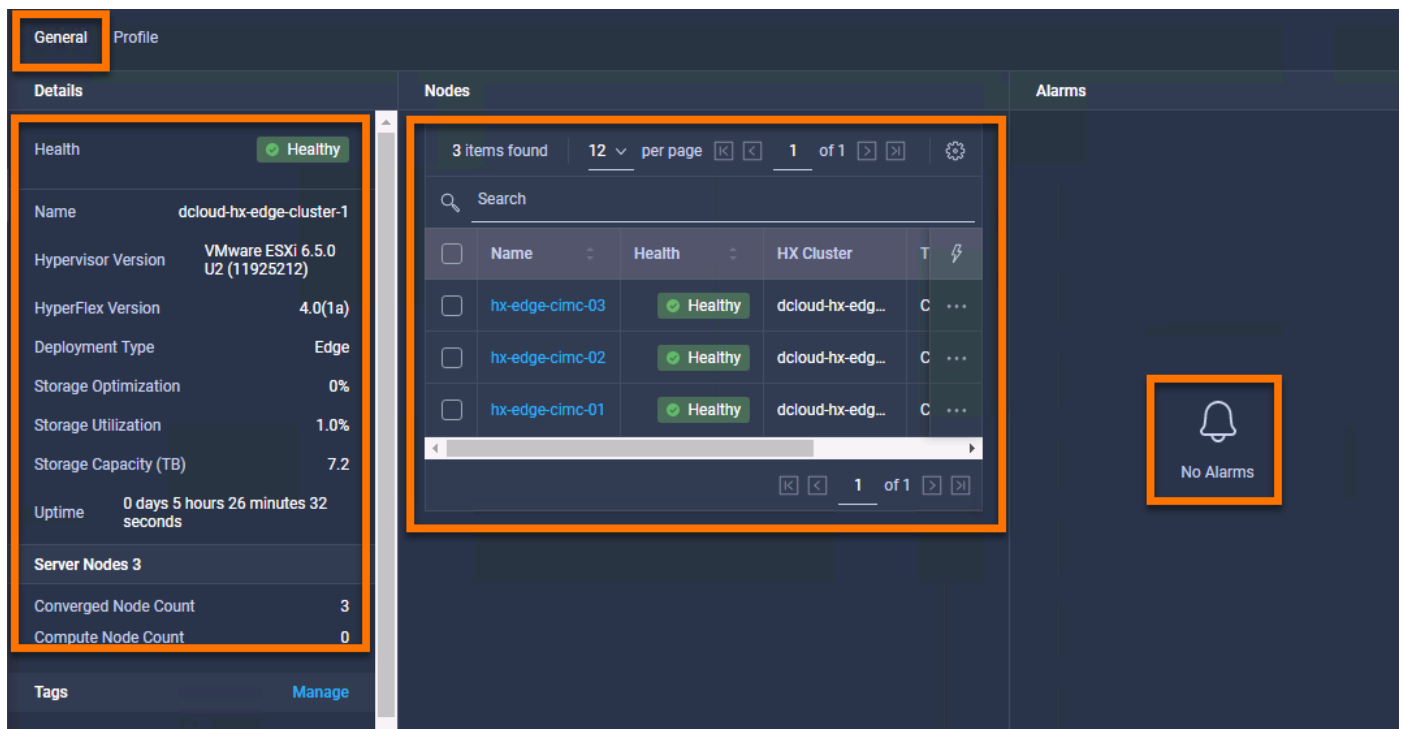
Expand All		All (126)	Success (126)	Warning (0)
+	HyperFlex Cluster dcloud-hx-edge-cluster-1	✓	✓ Node disk summary: f9c69853-7afd-9b48-923f-6185c1969990	
+	WZP220400A8 hx-edge-esxi-3 (198.18.135.103)	✓	✓ Host data subnet check	
+	WZP22040QPV hx-edge-esxi-2 (198.18.135.102)	✓	✓ Host data subnet check	
+	WZP22040QVB hx-edge-esxi-1 (198.18.135.101)	✓	✓ Host data subnet check	

15. [すべて展開 (Expand All)] をクリックし、展開に関連するすべての手順を表示します。

注: [すべて展開 (Expand All)] をクリックすると、次に示すように、テキストが [すべて折りたたみ (Collapse All)] に切り替わります。

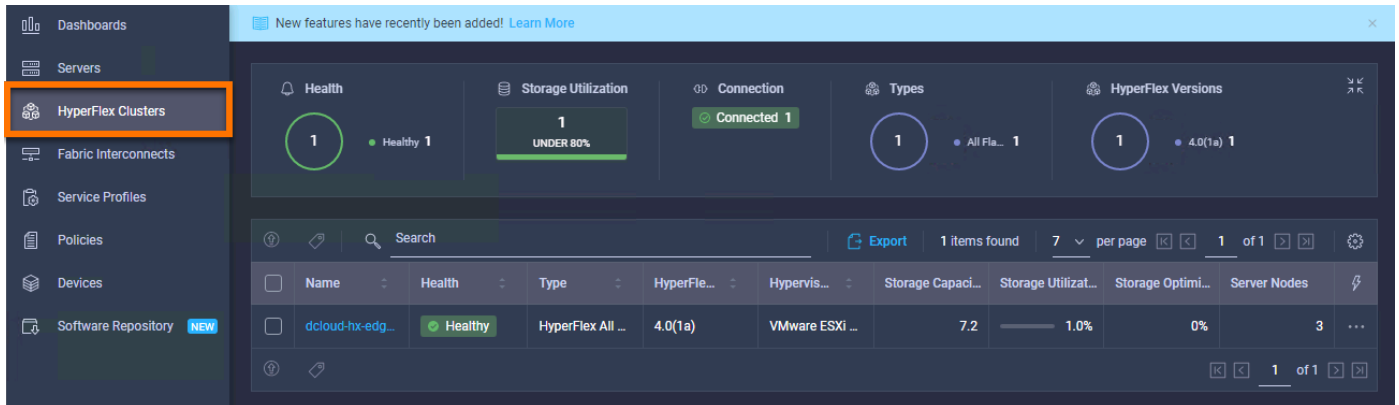


16. [全般 (General)] タブをクリックして、クラスタの概要 (正常性および関連するアラームを含む) を表示します。



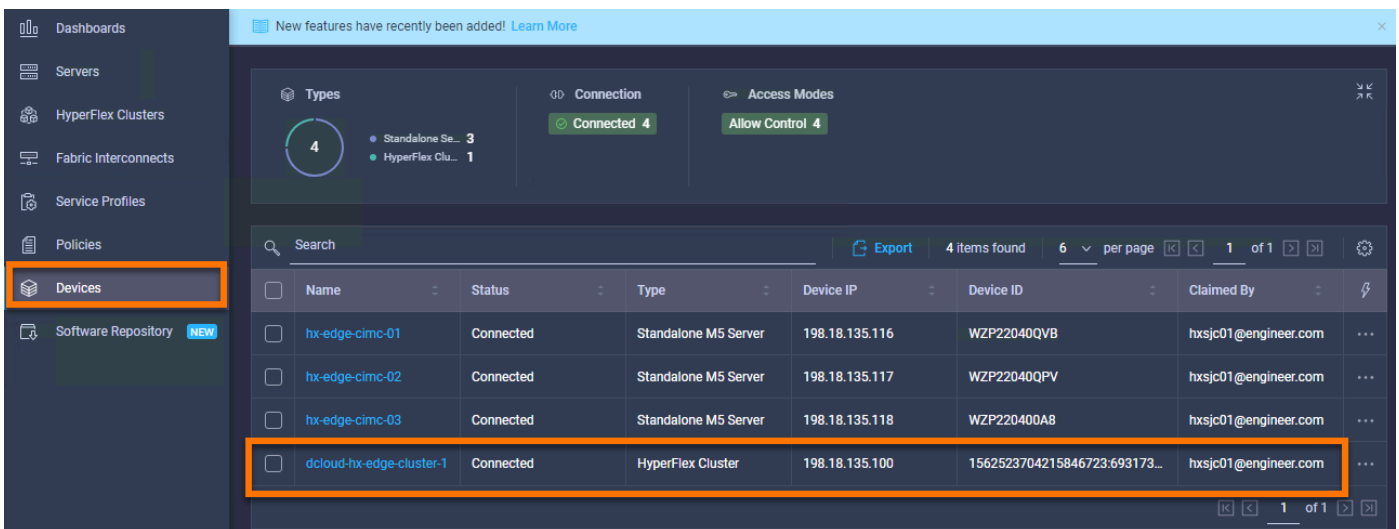


17. メニューで、[HyperFlex クラスタ (HyperFlex Clusters)] を選択し、クラスタの概要情報の別のビューを取得します。



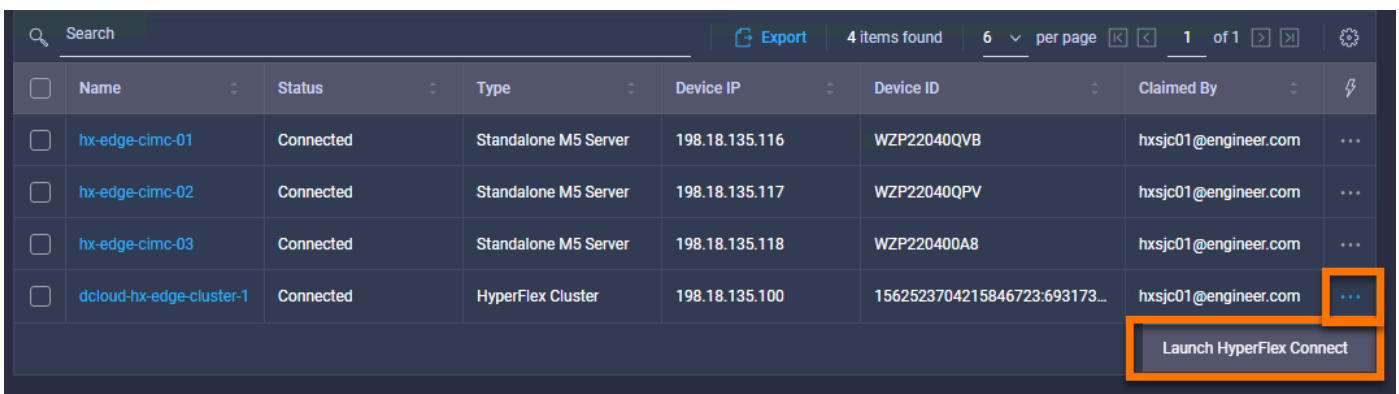
Name	Health	Type	HyperFlex...	Hypervis...	Storage Capaci...	Storage Utilizat...	Storage Optimi...	Server Nodes
dcloud-hx-edg...	Healthy	HyperFlex All ...	4.0(1a)	VMware ESXi ...	7.2	1.0%	0%	3

18. メニューで [デバイス (Devices)] を選択し、クラスタが新しい 1 台のデバイスとして登録されていることを確認します。



Name	Status	Type	Device IP	Device ID	Claimed By
hx-edge-cimc-01	Connected	Standalone M5 Server	198.18.135.116	WZP22040QVB	hxsjc01@engineer.com
hx-edge-cimc-02	Connected	Standalone M5 Server	198.18.135.117	WZP22040QPV	hxsjc01@engineer.com
hx-edge-cimc-03	Connected	Standalone M5 Server	198.18.135.118	WZP220400A8	hxsjc01@engineer.com
dcloud-hx-edge-cluster-1	Connected	HyperFlex Cluster	198.18.135.100	1562523704215846723:693173...	hxsjc01@engineer.com

19. 新しいクラスタの右側にある 3 つのドットをクリックし、[HyperFlex Connect の起動] (Launch HyperFlex Connect) ] を選択します。



Name	Status	Type	Device IP	Device ID	Claimed By
hx-edge-cimc-01	Connected	Standalone M5 Server	198.18.135.116	WZP22040QVB	hxsjc01@engineer.com
hx-edge-cimc-02	Connected	Standalone M5 Server	198.18.135.117	WZP22040QPV	hxsjc01@engineer.com
hx-edge-cimc-03	Connected	Standalone M5 Server	198.18.135.118	WZP220400A8	hxsjc01@engineer.com
dcloud-hx-edge-cluster-1	Connected	HyperFlex Cluster	198.18.135.100	1562523704215846723:693173...	hxsjc01@engineer.com

Launch HyperFlex Connect

## HyperFlex Connect を使用したクラスタの管理

1. **トップメニューを展開して、すべてのメニューオプションを表示します。**これで HyperFlex の全機能を使用してクラスタを管理できます。



2. **[パフォーマンス (Performance) ]** クリックし、クラスタの統計情報を表示します。



3. [システム情報 (System Information) ] をクリックし、システムの詳細を表示します。

System Overview Nodes Disks Last refreshed at: 07/10/2019 2:12:45 AM

**dcloud-hx-edge-cluster-1**  
ONLINE

vCenter: https://198.18.133.30  
Uptime: 0 days, 5 hours, 40 minutes, 33 seconds

Hypervisor: 6.5.0-11925212  
HXDP Version: 4.0.1a-33028

Total Capacity: 7.23 TB  
Available Capacity: 7.16 TB  
Data Replication Factor: 2

DNS Server(s): 198.18.133.1  
NTP Server(s): 198.18.128.1  
Controller Access over SSH: Enable

hx-localhost-08839961 | HXAF220C-M5SX | 7 Disks (1 Caching, 6 Persistent)

Online  
HXDP Version: 4.0(1a)  
Type: Hyper Converged

Hypervisor Status: Online | Hypervisor Address: 198.18.135.101

hx-localhost-09243471 | HXAF220C-M5SX | 7 Disks (1 Caching, 6 Persistent)

Online

4. [ノード (Node) ] タブを選択し、ノードの情報を表示します。

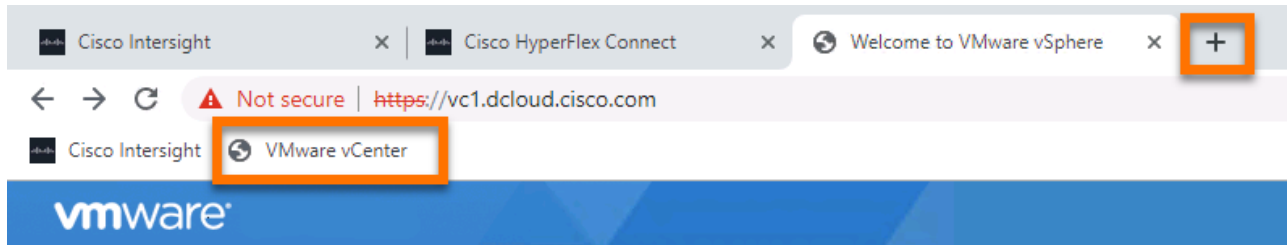
System Overview **Nodes** Disks Last refreshed at: 07/10/2019 2:12:45 AM

Enter HX Maintenance Mode Exit HX Maintenance Mode Filter

Node	Hypervisor Address	Hypervisor Status	Controller Address	Controller Status	Model	Version	Disks
hx-localhost-08839961	198.18.135.101	Online	198.18.135.104	Online	HXAF220C-M5SX	4.0(1a)	7
hx-localhost-09243471	198.18.135.102	Online	198.18.135.105	Online	HXAF220C-M5SX	4.0(1a)	7
hx-localhost-09442351	198.18.135.103	Online	198.18.135.106	Online	HXAF220C-M5SX	4.0(1a)	7

Showing 1 - 3 of 3

5. ブラウザで新しいタブを開き、[VMware vCenter ブックマーク (VMware vCenter bookmark) ]をクリックします。
6. [vSphere Web クライアント (Flash) (vSphere Web Client (Flash))] をクリックします。



### Getting Started

To access vSphere, log in to:

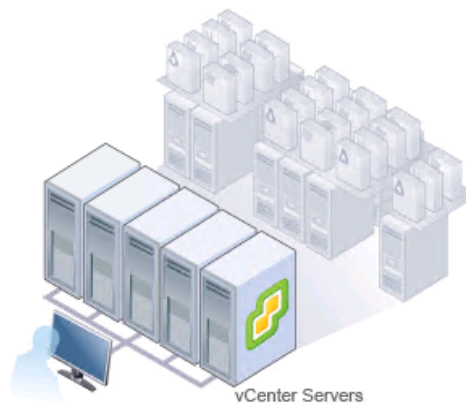
[vSphere Web Client \(Flash\)](#)

[vSphere Client \(HTML5\) - partial functionality](#)

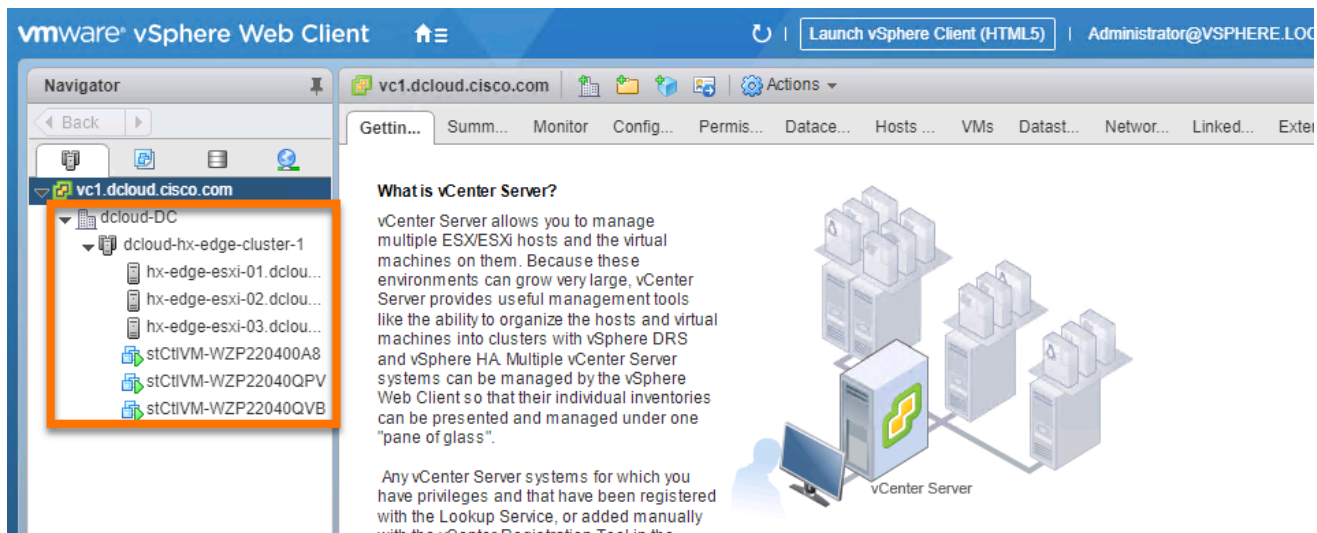
For help, see:

[vSphere Documentation](#)

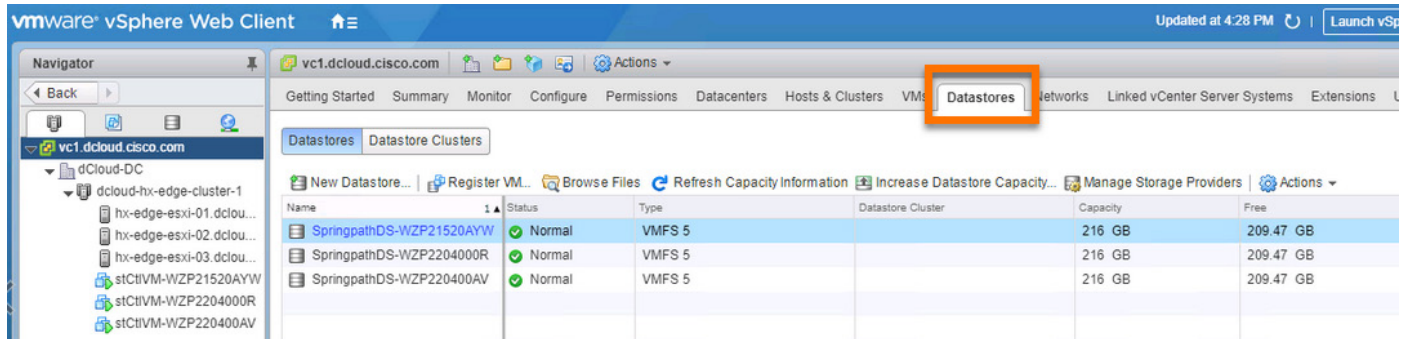
[Supported Functionality in vSphere Client \(HTML5\)](#)



7. ユーザ ID **administrator**、パスワード **C1sco12345!** を使用してログインします。
8. VMware で HyperFlex クラスタを展開し、ノードと HyperFlex ストレージコントローラ VM が存在することを確認します。



9. [データストア (Datastores)] タブをクリックします。最初に存在するのはローカルデータストアのみです。

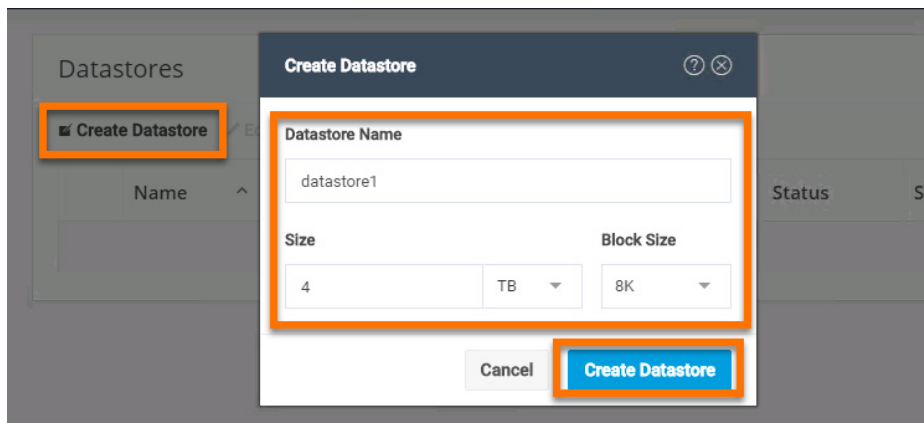


10. [HyperFlex Connect] タブに戻り、メニューで [データストア (Datastores)] をクリックします。

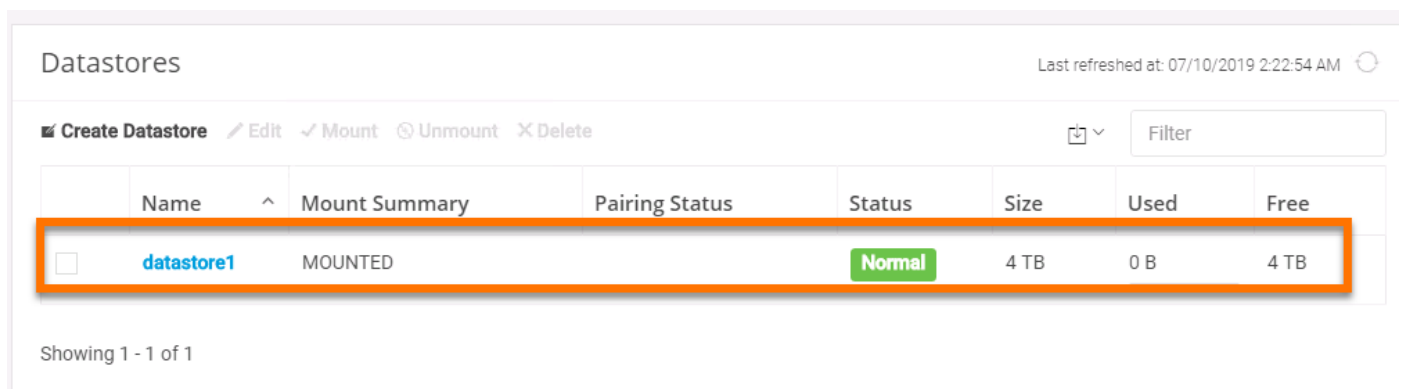
11. [データストアの作成 (Create Datastore)] をクリックします。

12. 次のように入力したら、[データストアの作成 (Create Datastore)] をクリックします。

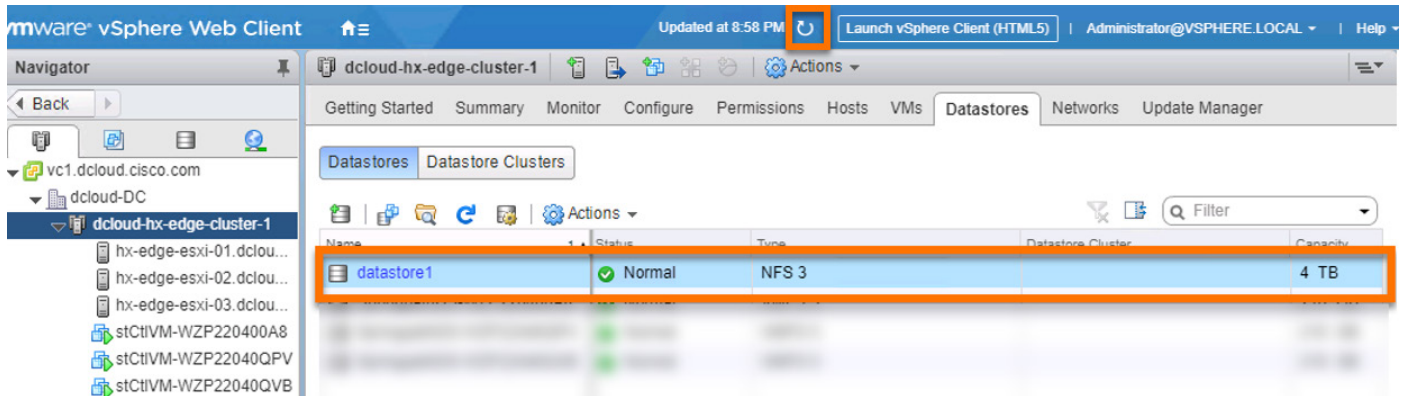
- [名前 (Name)] : **datastore1**
- [サイズ (Size)] : **4 TB**



13. データストアがほぼ即座に作成されます。

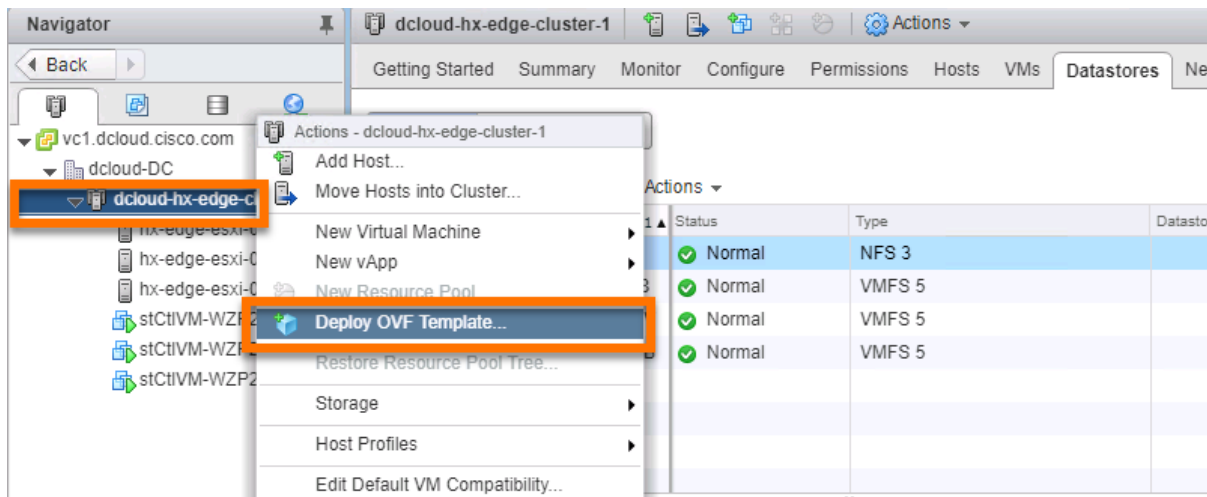


14. [vSphere Web クライアント (vSphere Web Client) ] タブに戻り、[ データストア (Datastores) ] タブを表示している状態で [更新 (Refresh) ] アイコンをクリックします。新しいデータストアが表示されます。



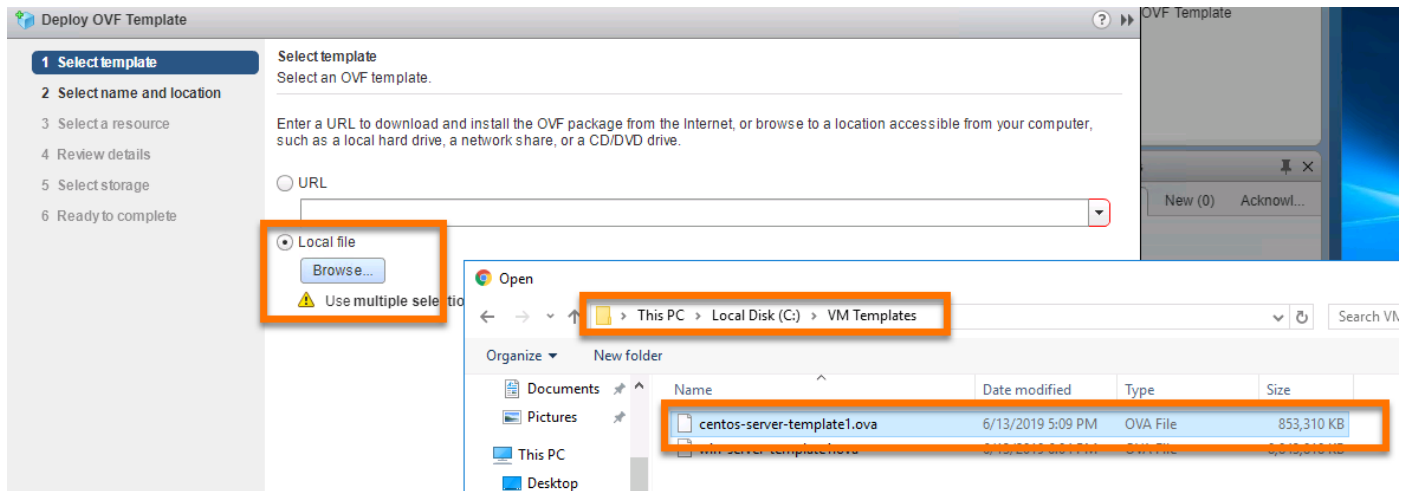
## OVF テンプレートの展開

1. メニューに戻り、[dcloud-hx-edge-cluster1] を右クリックして [OVF テンプレートの展開 (Deploy OVF Template) ] を選択します。

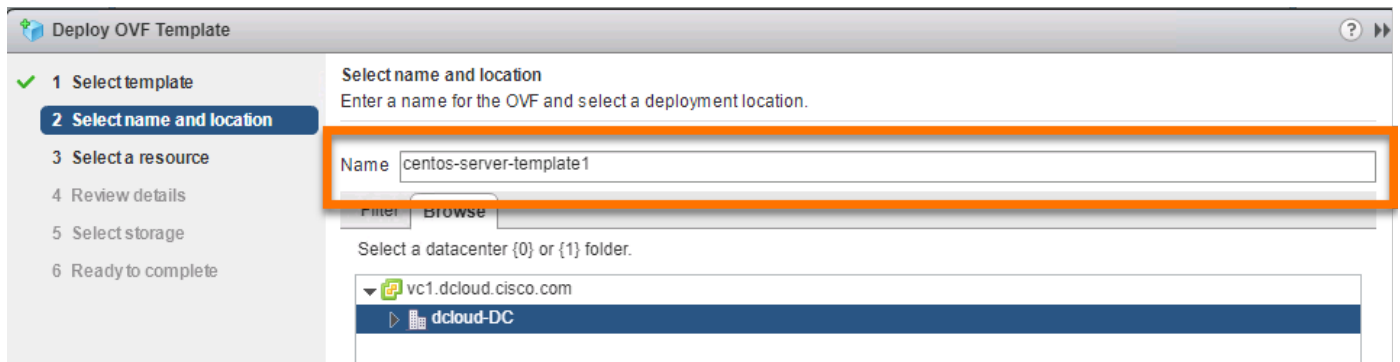


2. [ローカルファイル (Local File) ] を選択し、[参照 (Browse) ] をクリックします。

3. [ローカルディスク (C:) (Local Disk (C:))] > [VM テンプレート (VM Templates)] から .ova ファイルを選択します。

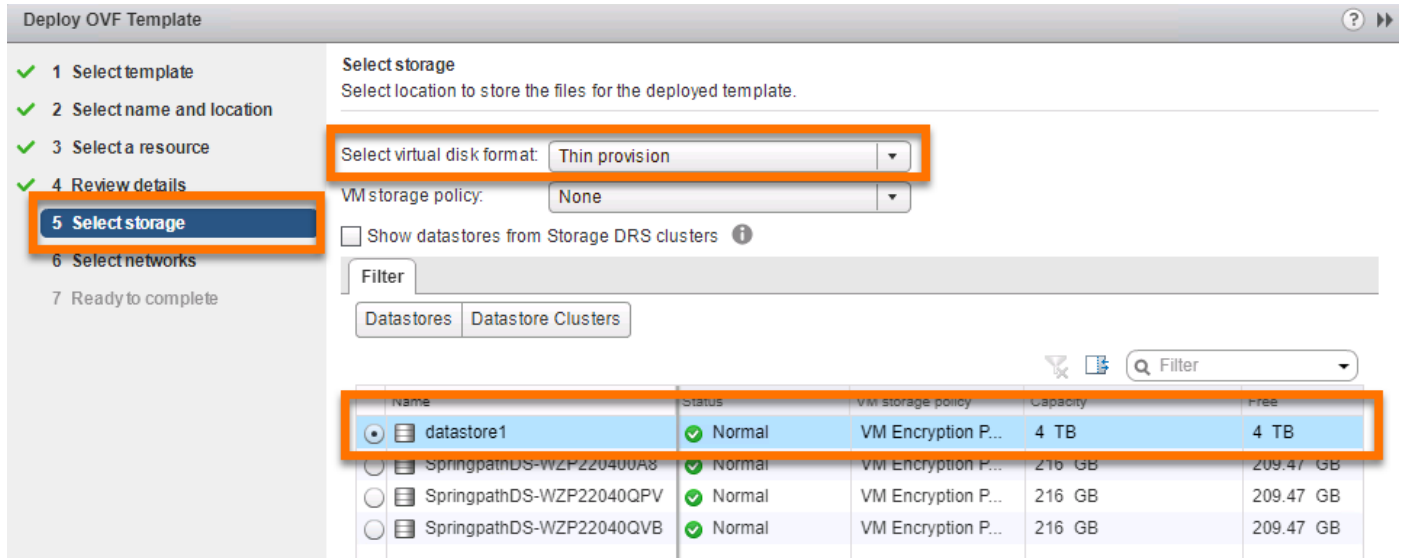


4. [次へ (Next)] をクリックします。
5. デフォルト名のまま [次へ (Next)] をクリックします。



6. [次へ (Next)] をクリックして [ストレージの選択 (Select Storage)] ウィンドウに進みます。
7. [仮想ディスク形式の選択 (Select virtual disk format)] で、[シンプロビジョニング (Thin Provision)] を選択します。

8. [datastore1] を選択し、[次へ (Next)] をクリックします。



Deploy OVF Template

1 Select template  
2 Select name and location  
3 Select a resource  
4 Review details  
**5 Select storage**  
6 Select networks  
7 Ready to complete

Select storage  
Select location to store the files for the deployed template.

Select virtual disk format: Thin provision

VM storage policy: None

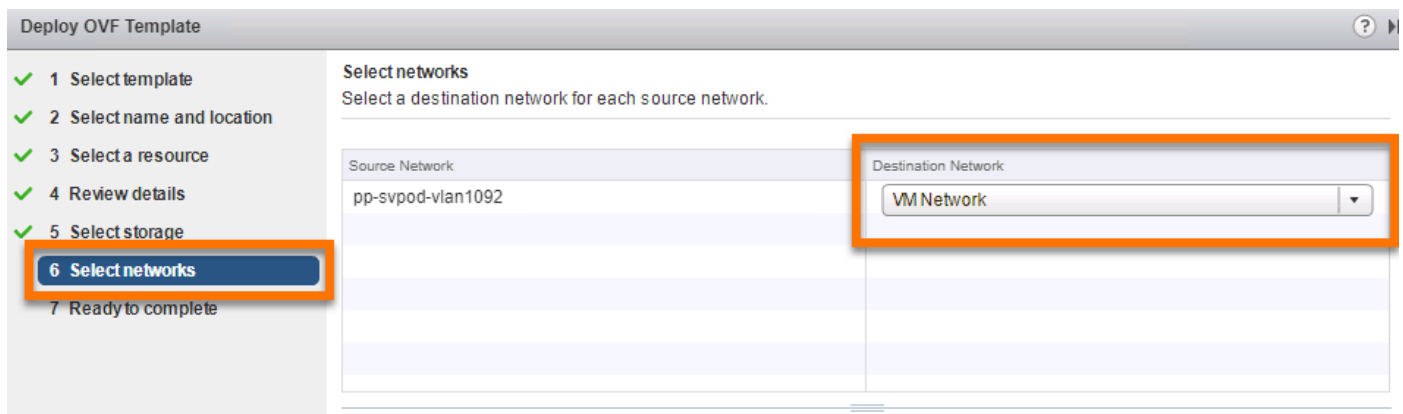
Show datastores from Storage DRS clusters

Filter

Datstores Datastore Clusters

Name	Status	VM storage policy	Capacity	Free
<input checked="" type="radio"/> datastore1	Normal	VM Encryption P...	4 TB	4 TB
<input type="radio"/> SpringpathDS-WZP22040A8	Normal	VM Encryption P...	216 GB	209.47 GB
<input type="radio"/> SpringpathDS-WZP22040QPV	Normal	VM Encryption P...	216 GB	209.47 GB
<input type="radio"/> SpringpathDS-WZP22040QVB	Normal	VM Encryption P...	216 GB	209.47 GB

9. [宛先ネットワーク (Destination Network)] で [VM ネットワーク (VM Network)] を選択し、[次へ (Next)] をクリックします。



Deploy OVF Template

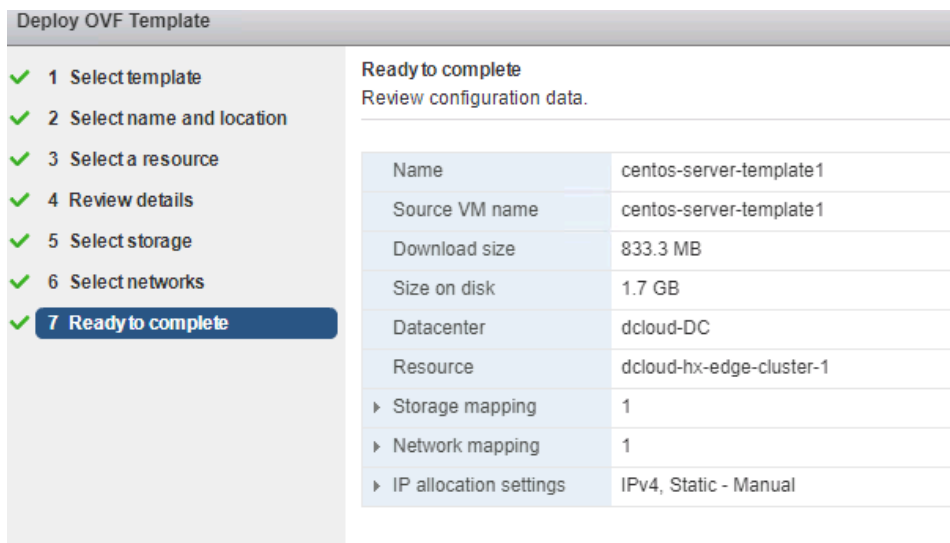
1 Select template  
2 Select name and location  
3 Select a resource  
4 Review details  
5 Select storage  
**6 Select networks**  
7 Ready to complete

Select networks  
Select a destination network for each source network.

Source Network: pp-svpod-vlan1092

Destination Network: VM Network

10. [準備完了 (Ready to Complete)] 画面を確認します。[完了 (Finish)] をクリックします。



Deploy OVF Template

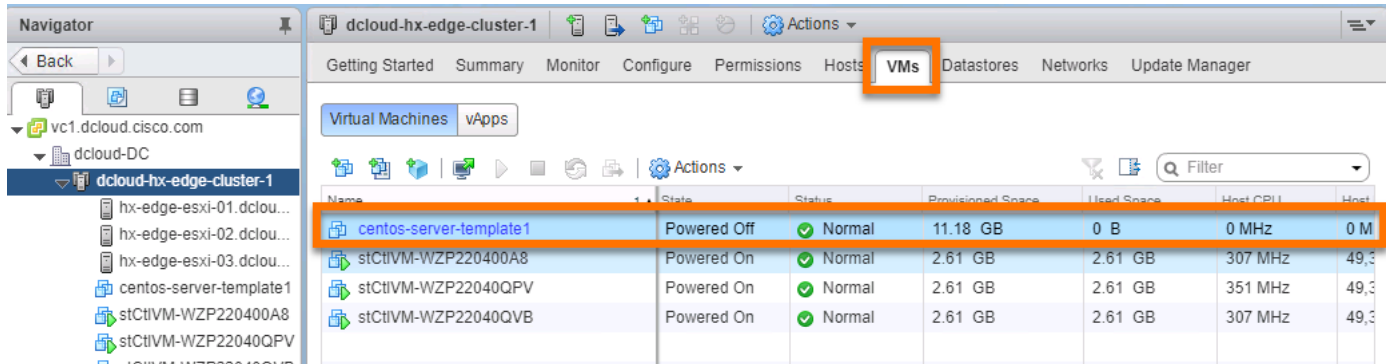
1 Select template  
2 Select name and location  
3 Select a resource  
4 Review details  
5 Select storage  
6 Select networks  
**7 Ready to complete**

Ready to complete  
Review configuration data.

Name	centos-server-template1
Source VM name	centos-server-template1
Download size	833.3 MB
Size on disk	1.7 GB
Datacenter	dcloud-DC
Resource	dcloud-hx-edge-cluster-1
Storage mapping	1
Network mapping	1
IP allocation settings	IPv4, Static - Manual

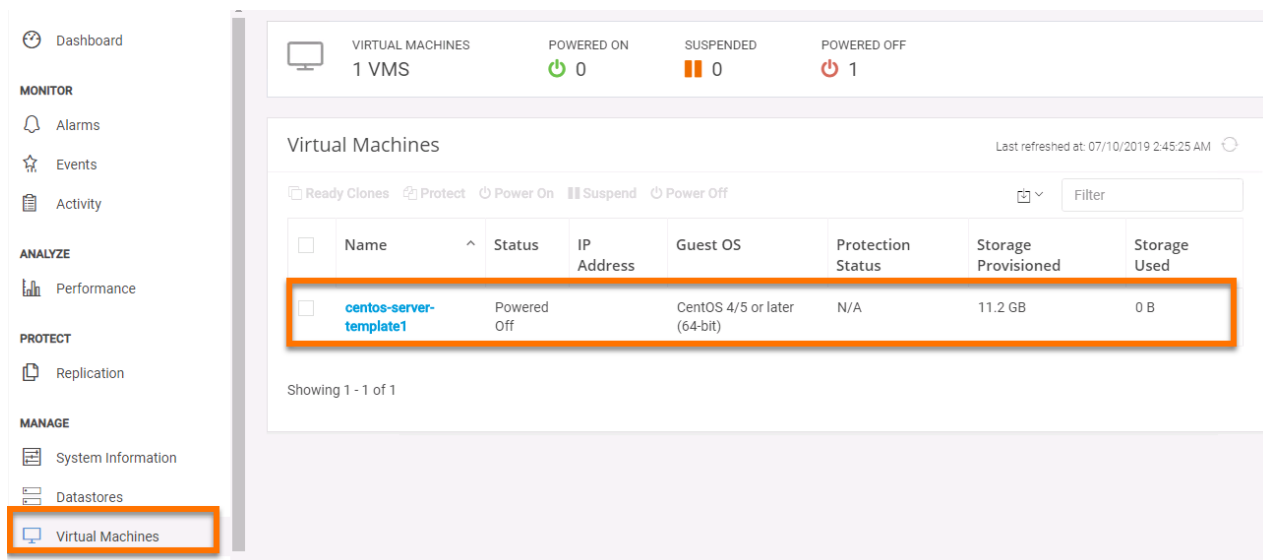


11. [VM (VMs) ] タブをクリックし、VM が作成されるまで待ちます。



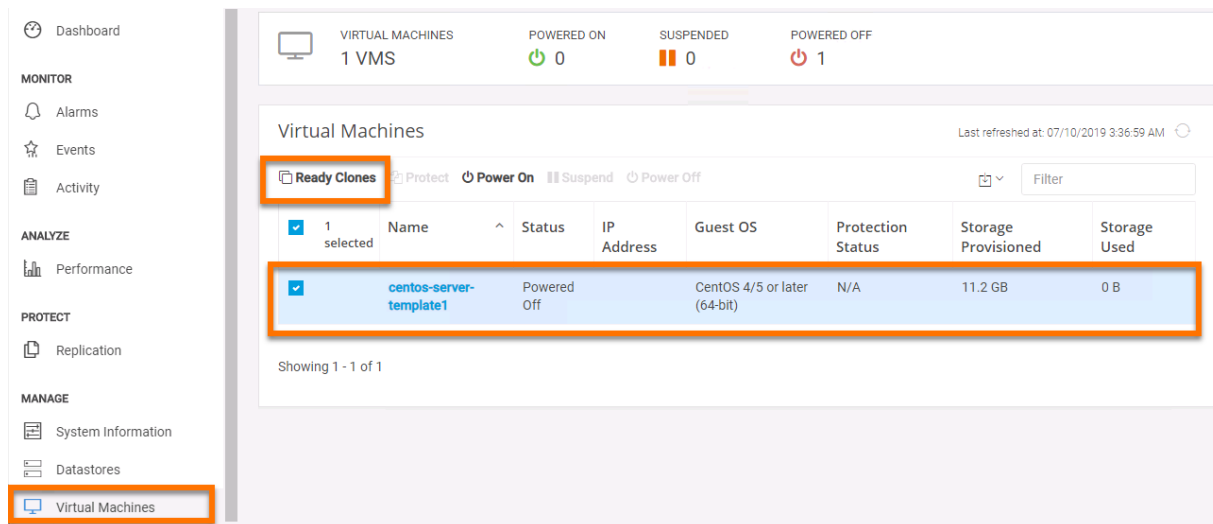
12. [HX Connect] タブに戻り、[仮想マシン (Virtual Machine) ] をクリックします。

13. 環境に VM が表示されます。



## レディクローンの設定

1. 新しい VM を選択し、[レディクローン (Ready Clones) ]をクリックします。



Dashboard

MONITOR

- Alarms
- Events
- Activity

ANALYZE

- Performance

PROTECT

- Replication

MANAGE

- System Information
- Datastores
- Virtual Machines**

VIRTUAL MACHINES 1 VMS POWERED ON 0 SUSPENDED 0 POWERED OFF 1

Virtual Machines Last refreshed at: 07/10/2019 3:36:59 AM

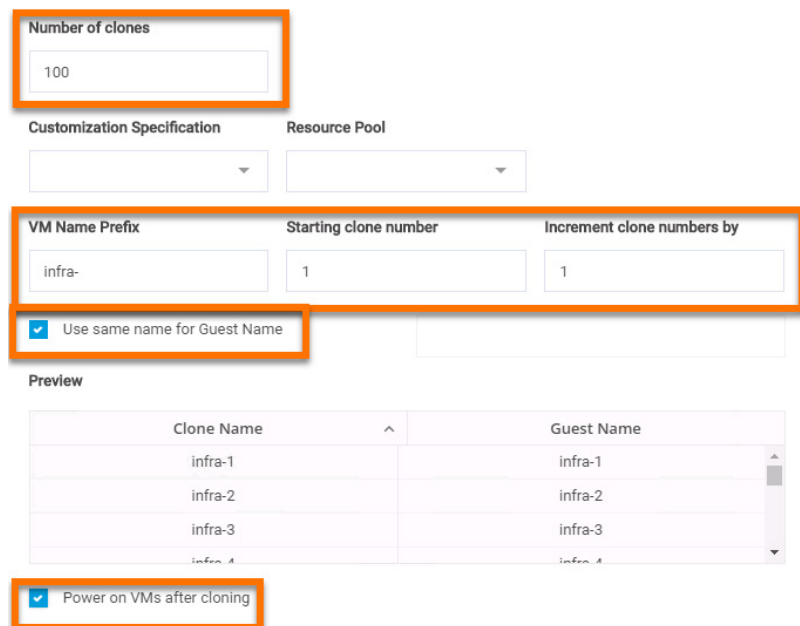
**Ready Clones** Protect Power On Suspend Power Off Filter

<input checked="" type="checkbox"/>	1 selected	Name	Status	IP Address	Guest OS	Protection Status	Storage Provisioned	Storage Used
<input checked="" type="checkbox"/>		centos-server-template1	Powered Off		CentOS 4/5 or later (64-bit)	N/A	11.2 GB	0 B

Showing 1 - 1 of 1

2. 次のように値を入力し、[クローン (Clone) ]をクリックします。

- [クローン数 (Number of clones) ] : **100**
- [VM 名プレフィックス (VM Name Prefix) ] : **infra-**
- [開始クローン番号 (Starting clone number) ] : **1**
- [増分 (Increment by) ] : **1**
- [ゲスト名に同じ名前を使用する (Use same name for Guest Name) ] : **オン**
- [複製後に VM を起動 (Power on VMs after cloning) ] : **オン**



Number of clones

100

Customization Specification Resource Pool

VM Name Prefix Starting clone number Increment clone numbers by

infra- 1 1

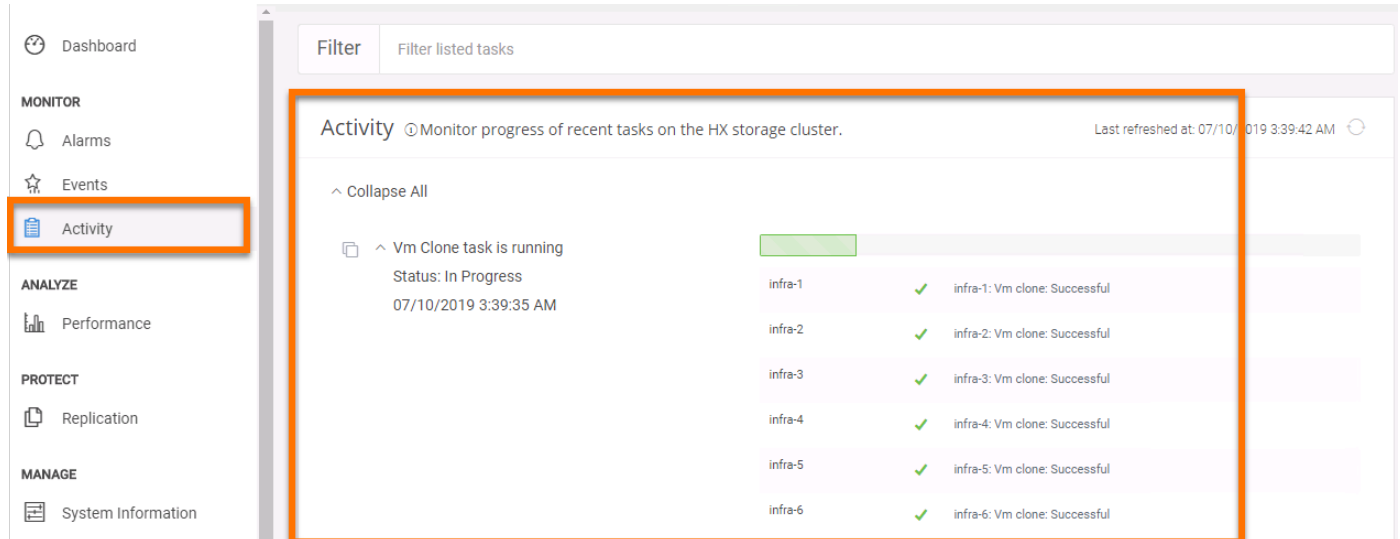
Use same name for Guest Name

Preview

Clone Name	Guest Name
infra-1	infra-1
infra-2	infra-2
infra-3	infra-3
infra-4	infra-4

Power on VMs after cloning

3. メニューから [アクティビティ (Activity)] を選択し、ジョブのステータスを表示します。



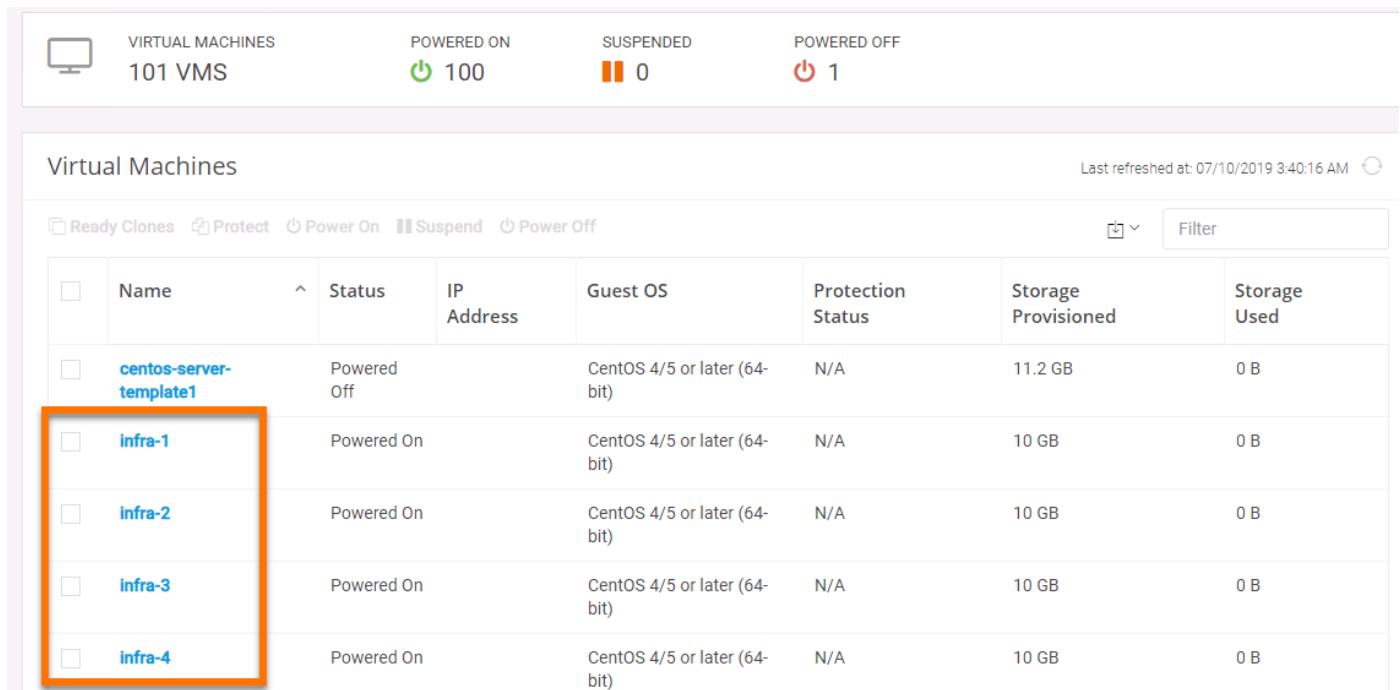
Activity Monitor progress of recent tasks on the HX storage cluster. Last refreshed at: 07/10/2019 3:39:42 AM

^ Collapse All

^ Vm Clone task is running  
Status: In Progress  
07/10/2019 3:39:35 AM

Node	Status	Message
infra-1	✓	infra-1: Vm clone: Successful
infra-2	✓	infra-2: Vm clone: Successful
infra-3	✓	infra-3: Vm clone: Successful
infra-4	✓	infra-4: Vm clone: Successful
infra-5	✓	infra-5: Vm clone: Successful
infra-6	✓	infra-6: Vm clone: Successful

4. メニューから [仮想マシン (Virtual Machines)] を選択し、オンラインになっているすべての VM 表示します。



VIRTUAL MACHINES  
101 VMS

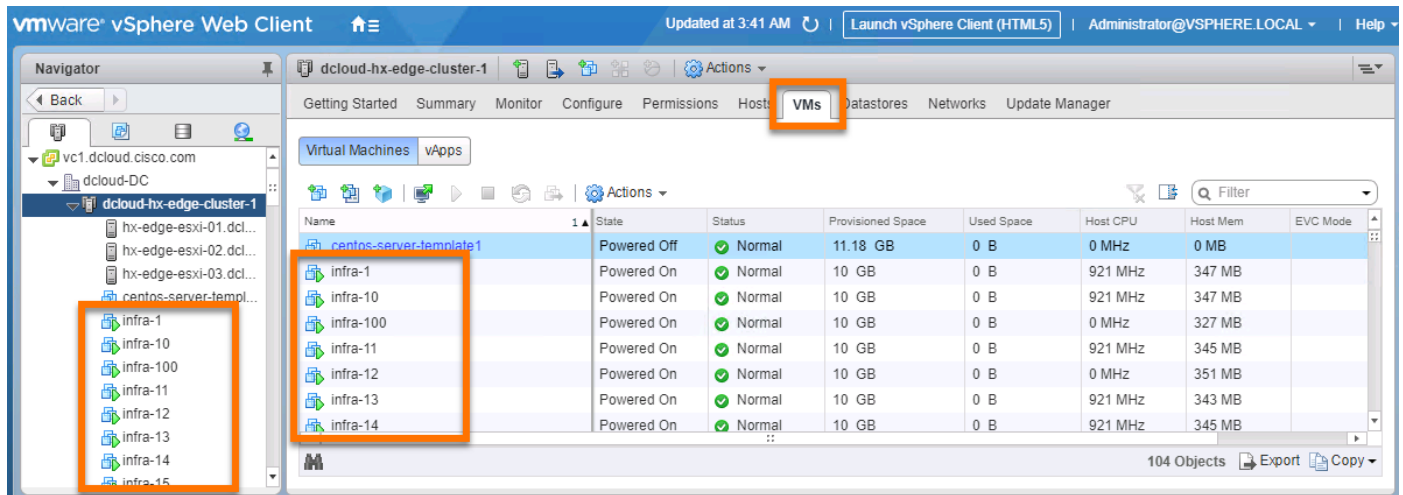
POWERED ON 100  
SUSPENDED 0  
POWERED OFF 1

Virtual Machines Last refreshed at: 07/10/2019 3:40:16 AM

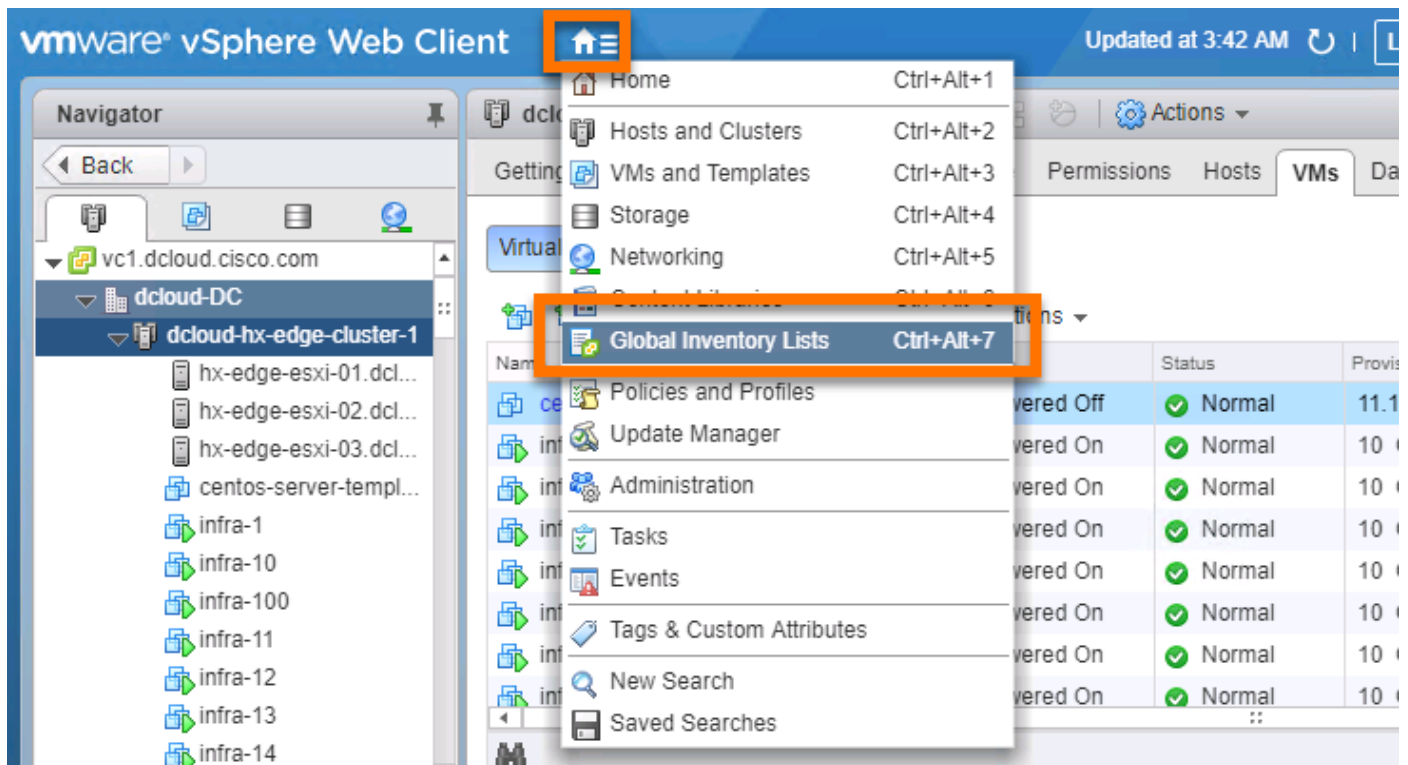
Ready Clones Protect Power On Suspend Power Off Filter

Name	Status	IP Address	Guest OS	Protection Status	Storage Provisioned	Storage Used
centos-server-template1	Powered Off		CentOS 4/5 or later (64-bit)	N/A	11.2 GB	0 B
infra-1	Powered On		CentOS 4/5 or later (64-bit)	N/A	10 GB	0 B
infra-2	Powered On		CentOS 4/5 or later (64-bit)	N/A	10 GB	0 B
infra-3	Powered On		CentOS 4/5 or later (64-bit)	N/A	10 GB	0 B
infra-4	Powered On		CentOS 4/5 or later (64-bit)	N/A	10 GB	0 B

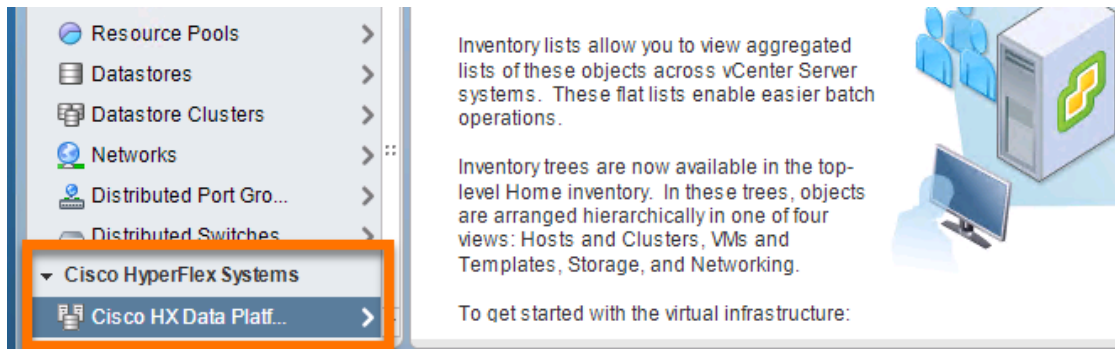
5. [vSphere Web クライアント (vSphere Web Client) ]に戻り、[VM (VMs) ]タブをクリックして、レディクローンが作成されていることを確認します。



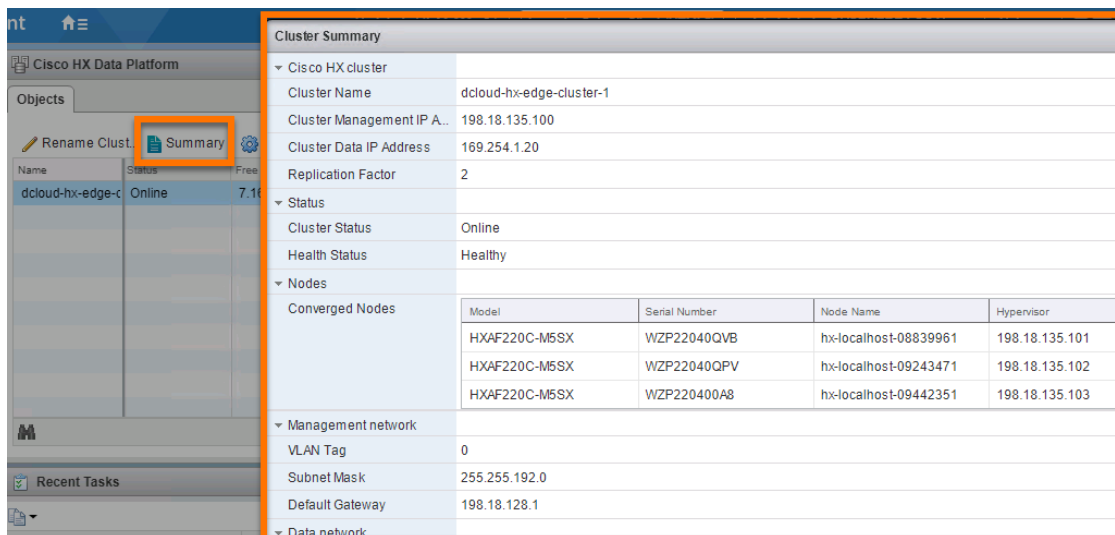
6. 上部の [ホーム (Home) ]アイコンを右クリックし、[グローバルインベントリリスト (Global Inventory List) ]を選択します。



7. メニューで [Cisco HyperFlex システム (Cisco HyperFlex Systems) ] > [Cisco HX データプラットフォーム (Cisco HX Data Platform) ] を選択します。



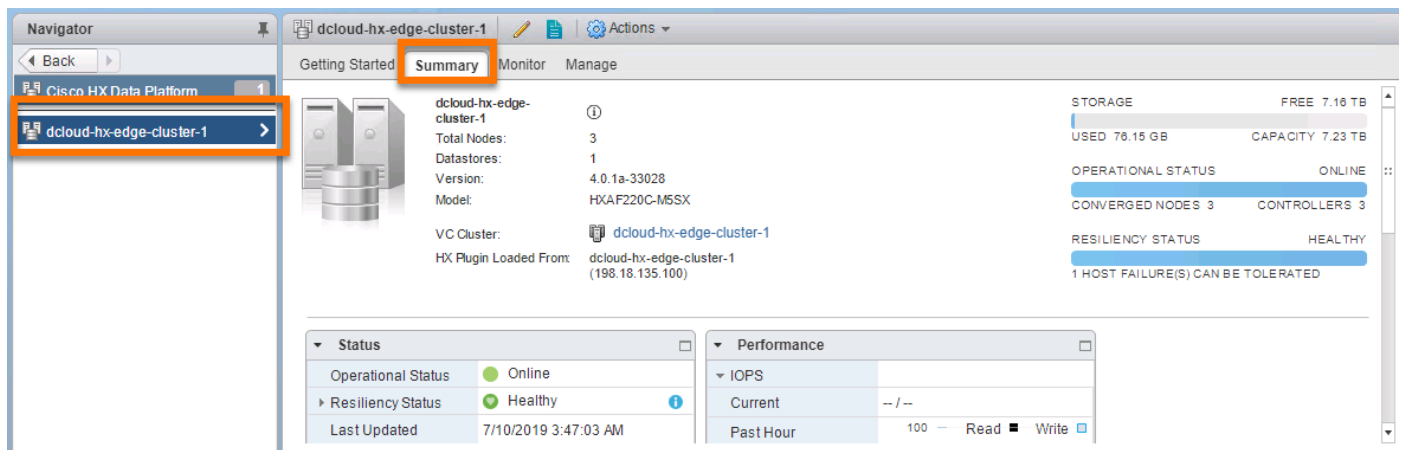
8. [サマリー (Summary) ] タブをクリックし、クラスタのサマリーを表示します。



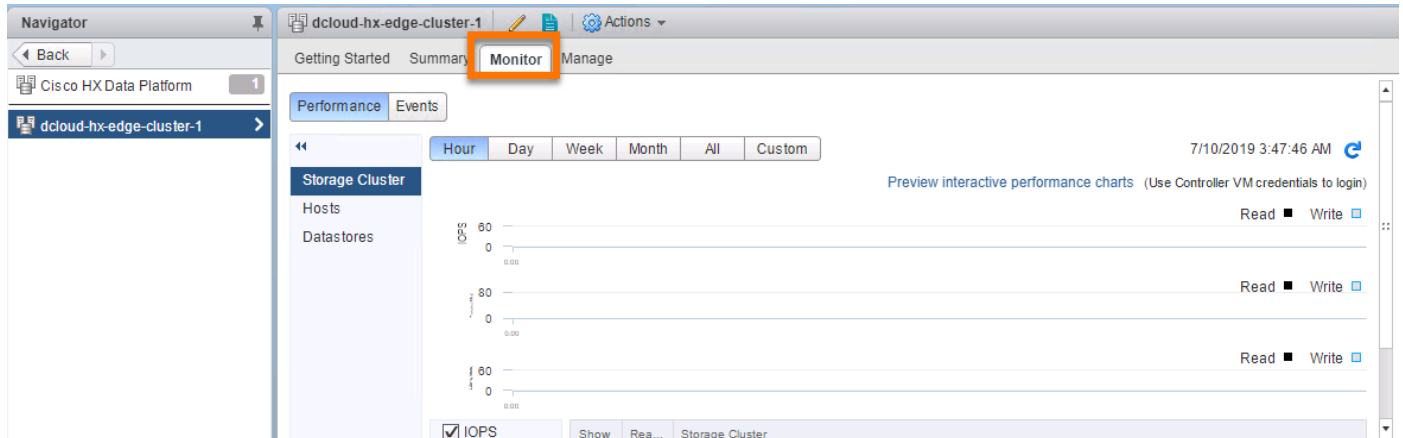
9. [X] をクリックして [サマリー (Summary) ] ウィンドウを閉じます。

10. 左側のメニューで、[dcloud-hx-edge-cluster-1] をクリックします。

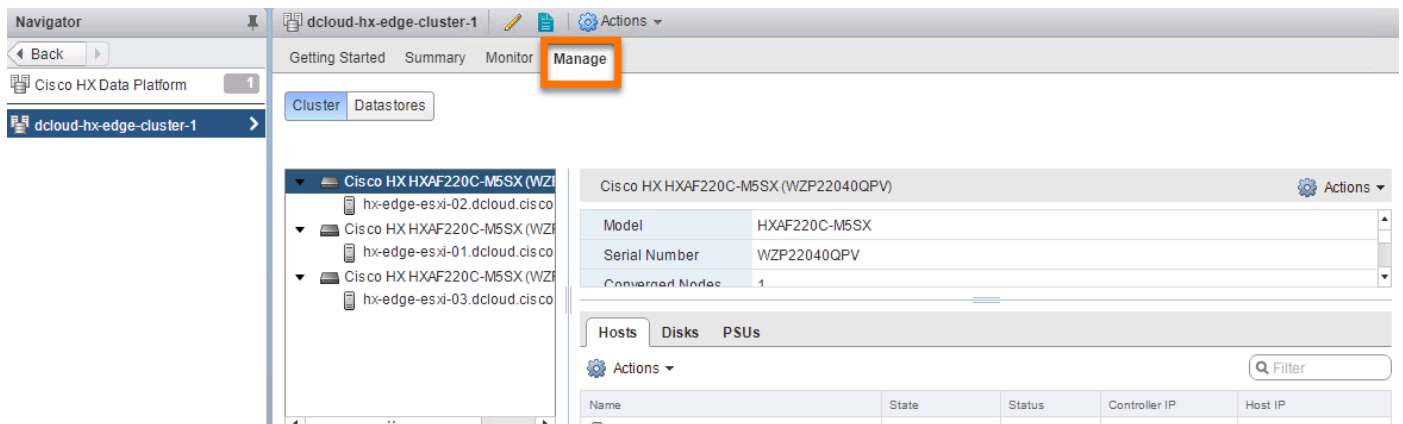
11. [サマリー (Summary) ] タブをクリックして、クラスタの完全なサマリーを表示します。



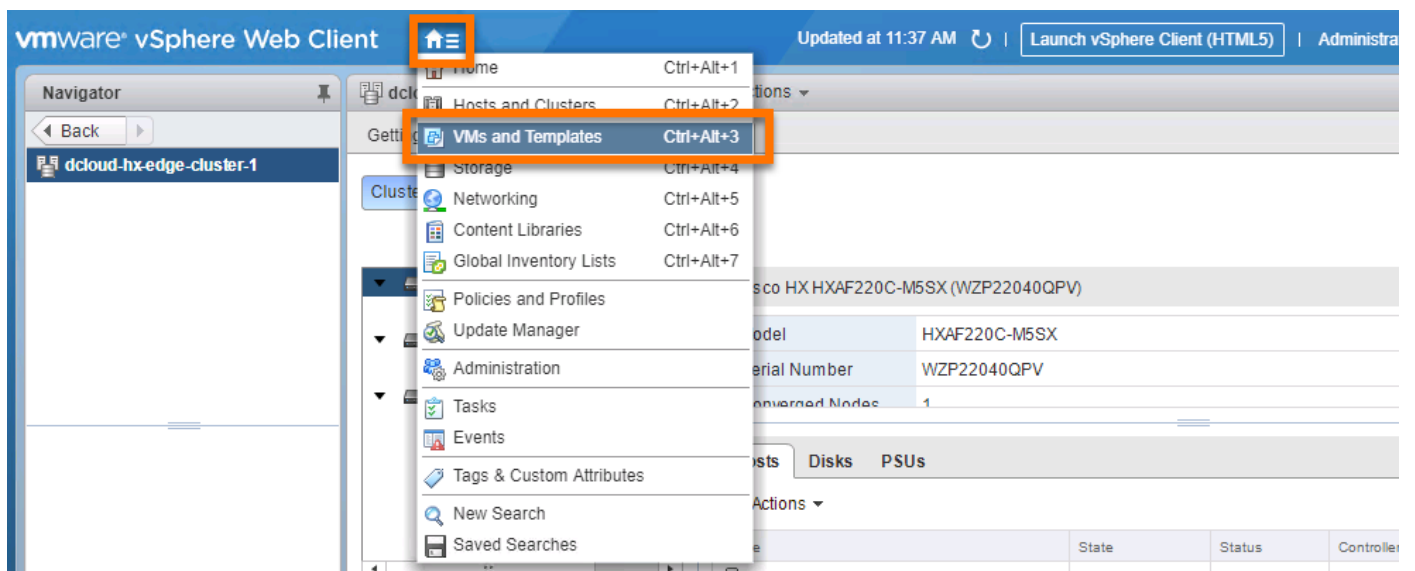
12. [モニタ (Monitor) ] タブをクリックして、パフォーマンスとイベントの情報を表示します。



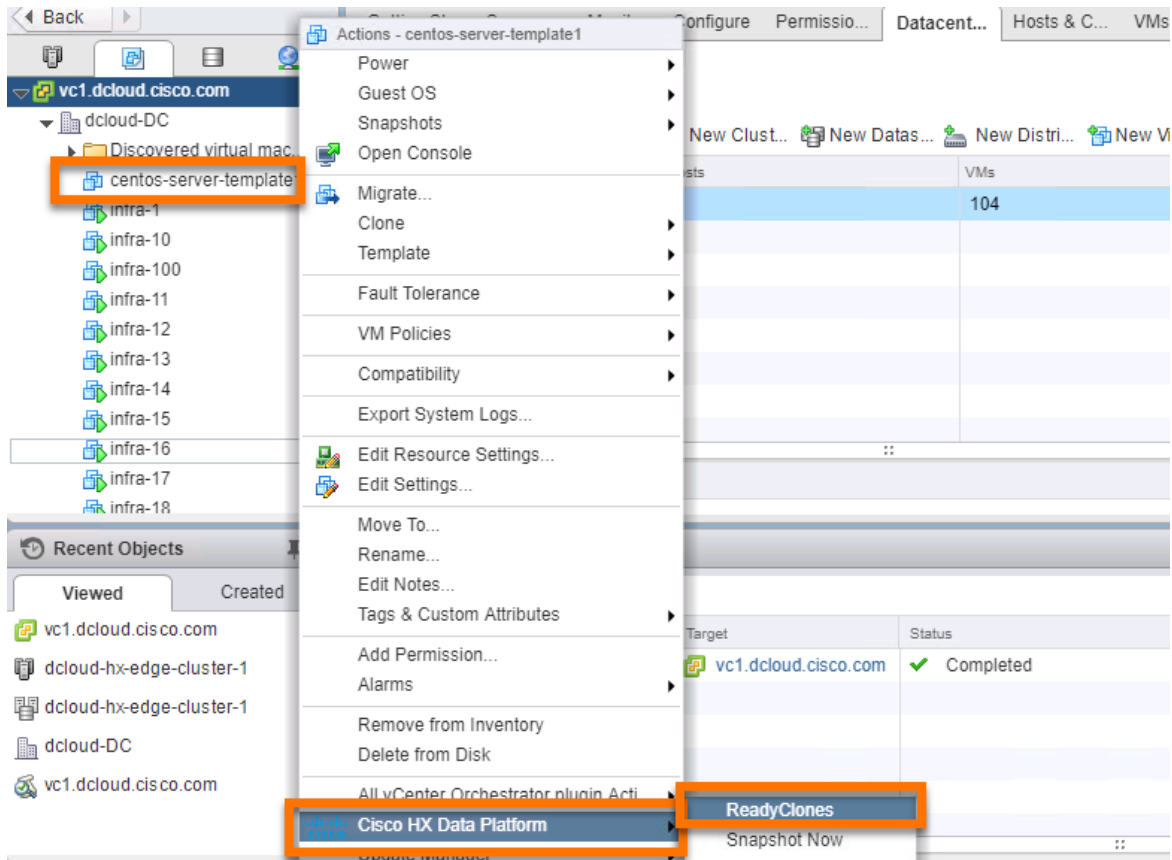
13. [管理 (Management) ] タブをクリックして、クラスタに関連付けられているノードとデータストアを表示します。



14. [ホーム (Home) ] アイコンをクリックし、[VM とテンプレート (VMs and Templates) ] を選択します。

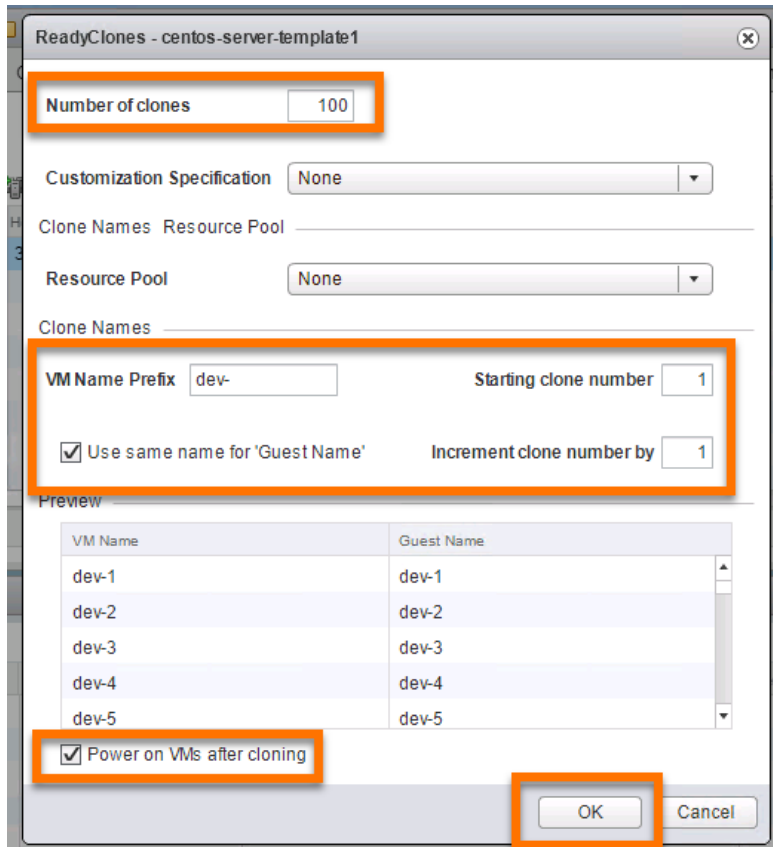


15. [dcloud-DC] > [テンプレート (Templates)] > [centos-server-template1] に移動します。テンプレートを右クリックし、[Cisco HX データプラットフォーム (Cisco HX Data Platform)] > [レディクローン (ReadyClones)] を選択します。

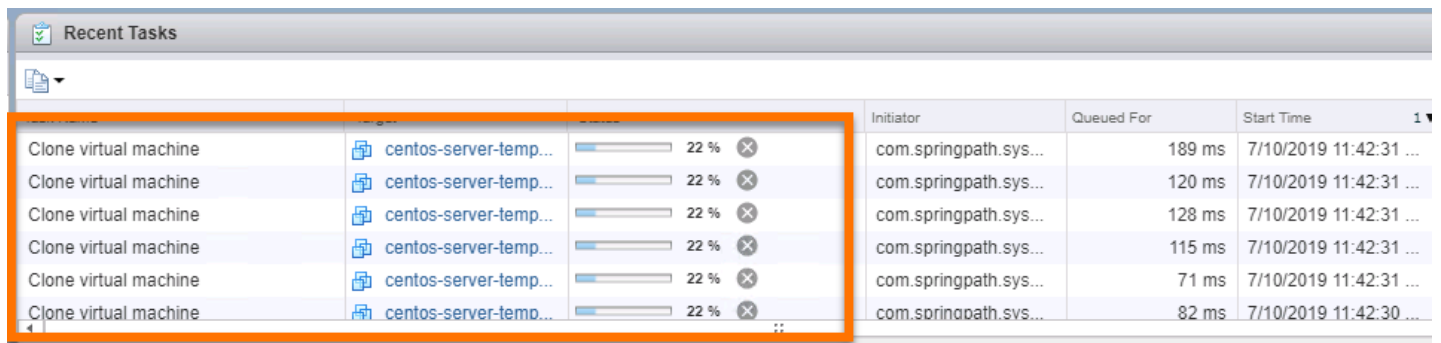


16. 次のように値を入力し、[OK] をクリックします。

- [クローン数 (Number of clones)] : **100**
- [VM 名プレフィックス (VM Name Prefix)] : **dev-**
- [開始クローン番号 (Starting clone number)] : **1**
- [増分 (Increment by)] : **1**
- [ゲスト名に同じ名前を使用する (Use same name for Guest Name)] : **オン**
- [複製後に VM を起動 (Power on VMs after cloning)] : **オン**



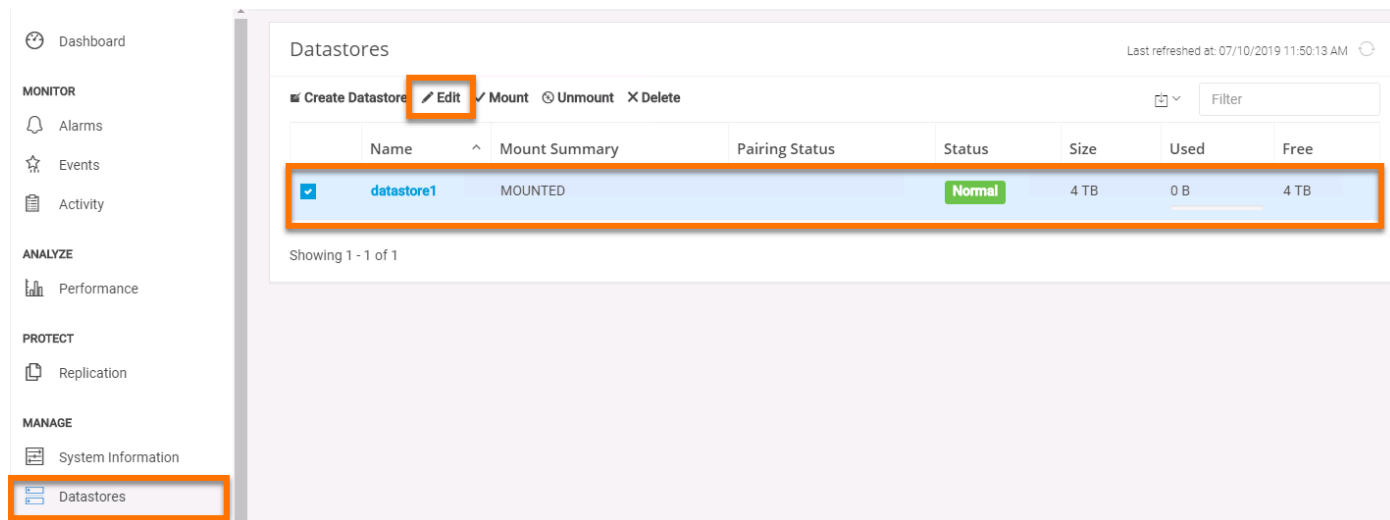
17. 画面下部の [最近のタスク (Recent Tasks)] に、作成中の複数のクローンが表示されます。これらのクローンは、完了すると左側のメニューリストに表示されます。





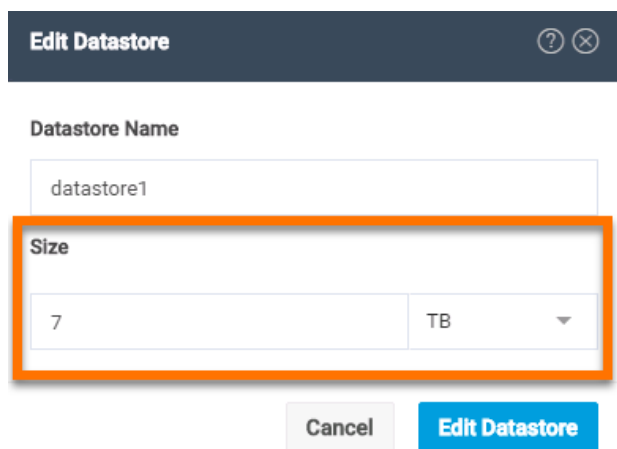
## データストアの展開

1. [HyperFlex Connect] タブで、メニューから [データストア (Datastores)] をクリックします。
2. リストからデータストアを選択し、[編集 (Edit)] をクリックします。



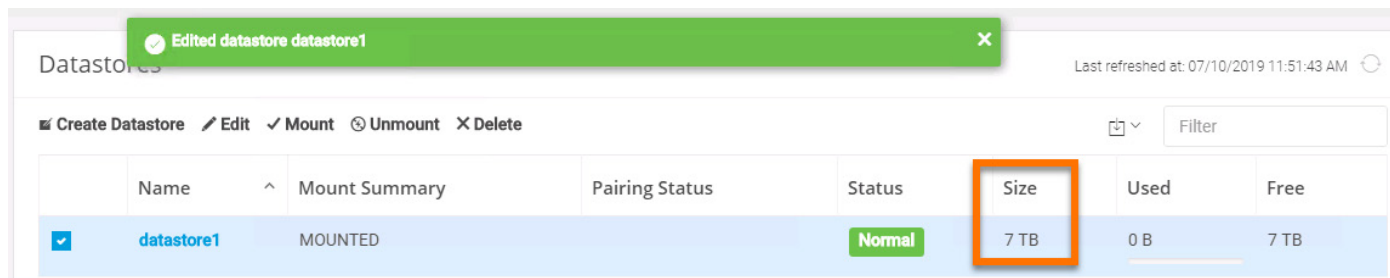
The screenshot shows the 'Datastores' management page. The left sidebar has 'Datastores' highlighted. The main content area shows a table with one row: 'datastore1' with a status of 'Normal' and a size of '4 TB'. The 'Edit' button above the table is highlighted with an orange box.

3. サイズを **7 TB** に変更します。
4. [データストアの編集 (Edit Datastore)] をクリックします。



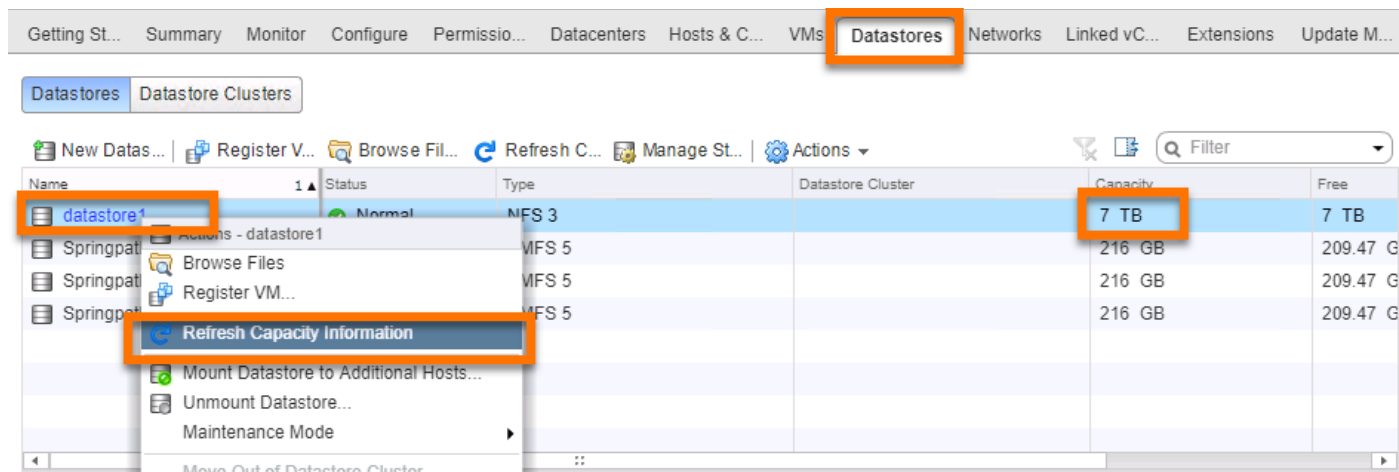
The 'Edit Datastore' dialog box is shown. The 'Datastore Name' field contains 'datastore1'. The 'Size' field is highlighted with an orange box and contains '7' and 'TB'. There are 'Cancel' and 'Edit Datastore' buttons at the bottom.

5. データストアがほぼ即座に変更されます。



The screenshot shows the 'Datastores' management page after the update. A green notification banner at the top says 'Edited datastore datastore1'. The table now shows 'datastore1' with a status of 'Normal' and a size of '7 TB'. The 'Size' column in the table is highlighted with an orange box.

- [vSphere Web クライアント (vSphere Web Client) ] タブに戻り、[データストア (Datastores) ] タブを選択し、[datastore1] をクリックします。
- [キャパシティ情報の更新 (Refresh Capacity Information) ] を選択します。
- キャパシティが 7 TB に変更されます。



Name	Status	Type	Datastore Cluster	Capacity	Free
datastore1	Normal	MFS 3		7 TB	7 TB
Springpat...		MFS 5		216 GB	209.47 G
Springpat...		MFS 5		216 GB	209.47 G
Springpat...		MFS 5		216 GB	209.47 G



## 次に必要な作業

関連する提案やデモンストレーションを参照することにより、データセンターの運用効率と適応性を引き上げる方法を学び、ハイパーコンバージド インフラストラクチャの可能性を最大限に引き出すことができます。

- [Cisco HyperFlex システム \(Cisco HyperFlex Systems\)](#)
- [Intersight v1 による Cisco UCS の管理 \(Cisco UCS Management with Intersight v1\)](#)
- [Cisco Intersight Essentials v2](#)
- [VMware Horizon によるデスクトップ仮想化 \(Desktop Virtualization with VMware Horizon\)](#)
- [共有ハードウェア上の Cisco HyperFlex 4.0 v1 \(Cisco HyperFlex 4.0 on Shared Hardware v1\)](#)
- [Citrix Cloud および NVIDIA GPU 搭載 Cisco HyperFlex 4.0 v1 \(Cisco HyperFlex 4.0 with Citrix Cloud and Nvidia GPU v1\)](#)
- [VMware ホライズンおよび Nvidia GPU v1 を搭載した Cisco Hyperflex 4.0](#)

© 2020 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

Cisco、Cisco Systems、および Cisco Systems ロゴは、Cisco Systems, Inc. またはその関連会社の米国およびその他の一定の国における登録商標または商標です。

本書類またはウェブサイトに掲載されているその他の商標はそれぞれの権利者の財産です。

「パートナー」または「partner」という用語の使用は Cisco と他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(1502R)

この資料の記載内容は 2020 年 5 月現在のものです。

この資料に記載された仕様は予告なく変更する場合があります。



お問い合わせ先

シスコシステムズ合同会社

〒107 - 6227 東京都港区赤坂 9-7-1 ミッドタウン・タワー

<http://www.cisco.com/jp>